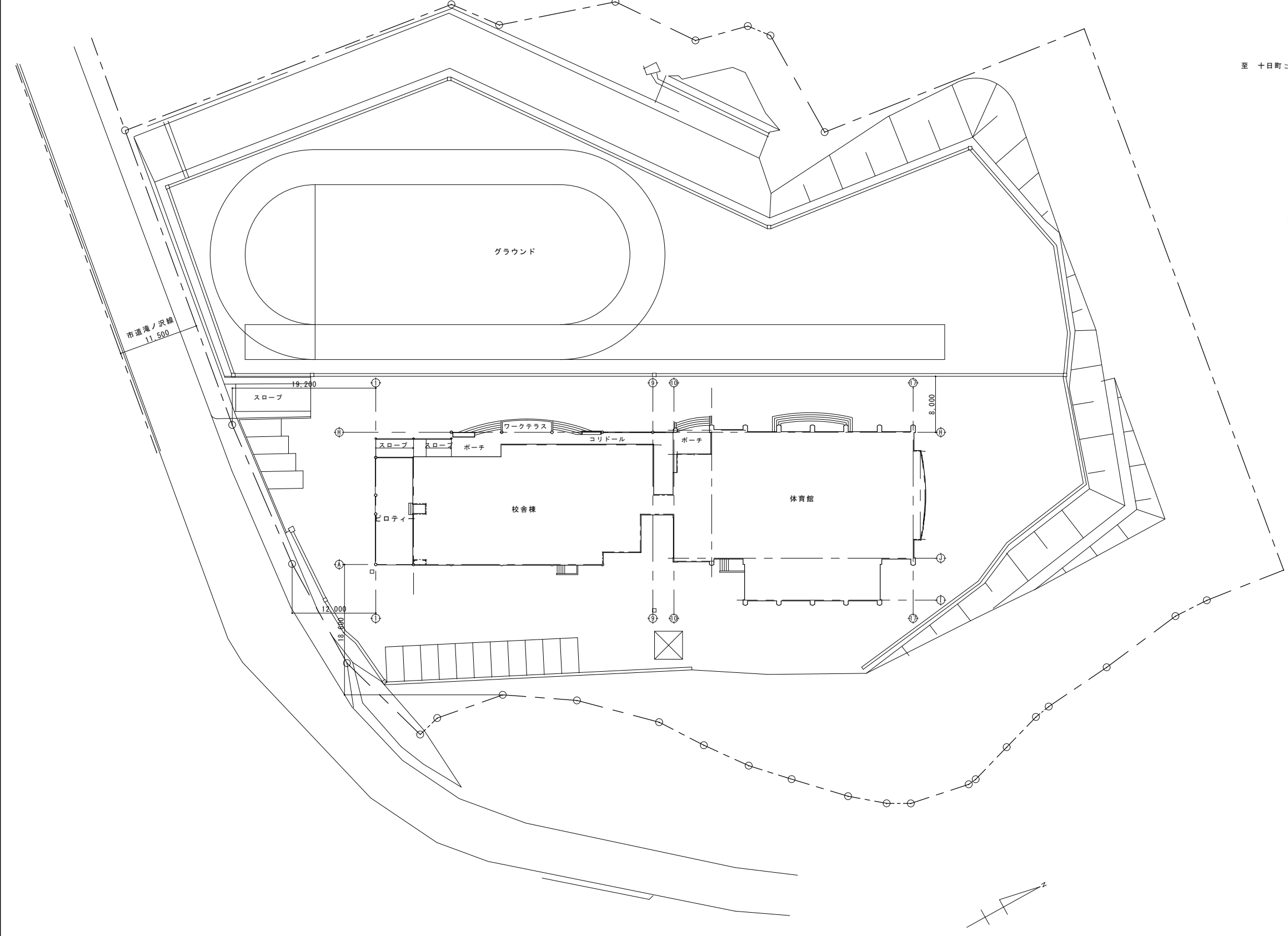


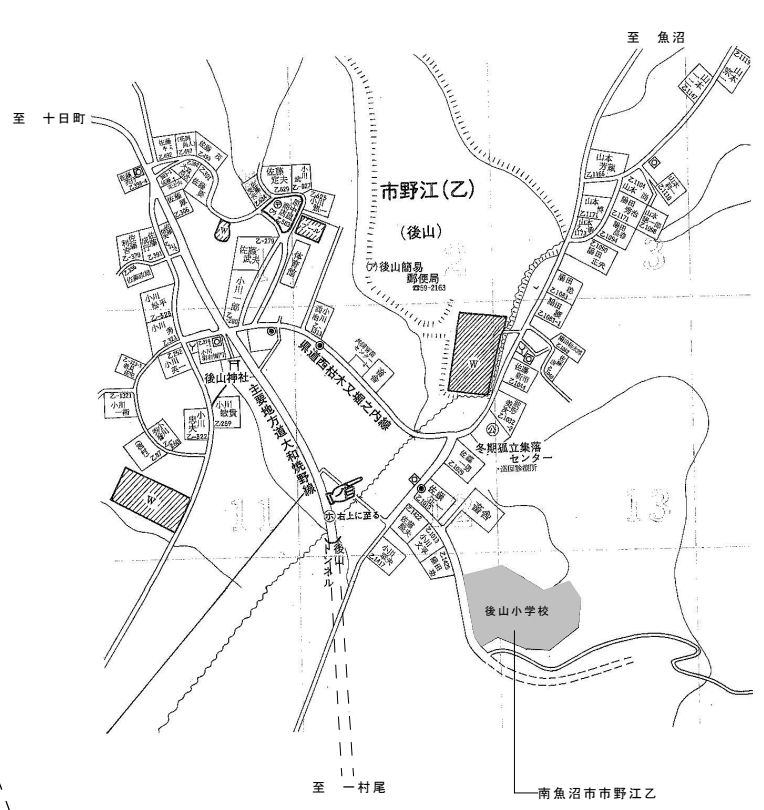
# 後山小学校予防改修工事

令和 8年 1月

記 号	意 匠	A1縮尺	記 号	意 匠 ・ 構造	A1縮尺	記 号	電 気 設 備	A1縮尺	記 号	機 械 設 備	A1縮尺
A-00	表紙・図面リスト	F	A-31	仮設計面図（1）	1:100	E-01	電気設備改修工事特記仕様書（1）	F	M-01	機械設備改修工事特記仕様書（1）	F
A-01	案内図・配置図	1:300	A-32	仮設計面図（2）	1:100	E-02	電気設備改修工事特記仕様書（2）	F	M-02	機械設備改修工事特記仕様書（2）	F
A-02	建築工事改修特記仕様書（1）	F	A-33	仮設計面図（3）	1:300	E-03	1階便所電気設備改修	1:50	M-03	1階WC衛生設備図	1:50
A-03	建築工事改修特記仕様書（2）	F	A-34	仮設計面図（体育館）	1:100	E-04	2階便所電気設備改修	1:50	M-04	2階WC衛生設備図	1:50
A-04	建築工事改修特記仕様書（3）	F				E-05	照明設備改修後平面図	1:100	M-05	1階給食室廻り設備図	1:50
A-05	建築工事改修特記仕様書（4）	F				E-06	姿図	F			
A-06	建築工事改修特記仕様書（5）	F									
A-07	建築工事改修特記仕様書（6）	F									
A-08	仕上表	F									
A-09	全体平面図	1:150									
A-10	改修前平面図（校舎棟）	1:100									
A-11	改修後平面図（校舎棟）	1:100									
A-12	屋根平面図	1:100									
A-13	立面図（1）	1:100									
A-14	立面図（2）	1:100									
A-15	断面図	1:100									
A-16	矩計図（1）	1:30									
A-17	矩計図（2）	1:30									
A-18	矩計図（3）	1:30									
A-19	建具表キープラン（校舎棟）	1:100									
A-20	建具表（1）	1:100									
A-21	建具表（2）	1:100									
A-22	1階WC平面詳細図・天井伏図	1:50									
A-23	2階WC平面詳細図・展開図	1:50									
A-24	1階平面詳細図・展開図	1:50									
A-25	詳細図	図示									
A-26	体育館平面図	1:100									
A-27	体育館屋根平面図	1:100									
A-28	体育館立面図	1:300									
A-29	体育館断面図										
A-30	体育館矩計図										



配置図



案内図

後山小学校予防改修工事設計図

新潟県南魚沼市  
令和 7年 3月（全 枚）

仕様書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修仕様」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。  
(1) 「契約書」を「南魚沼市財務規則（平成19年3月30日規則第4号）」並びに「南魚沼市建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。  
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。  
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。  
(1) 1章 各章共通事項 1節 共通事項  
1.1.2用語の定義の(7)、(ㄮ)及び(ㄲ)  
(2) 〃 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)  
(3) 〃 1.4.4材料の検査等の(1)  
(4) 〃 1.8.1工事検査の(2)及び(3)

4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。  
1章 1.1.2 用語の定義の(ㄴ)  
〃 1.8.2 技術検査

別表（建築改修工事）

号	項目	置き換え後の改修標仕の規定
1	1章 各章共通事項 1節 共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第11条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄲ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ① 工事の完成（約款第28条） ② 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第34条） ③ 部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第35条） ④ 契約の解除時における出来形部分（約款第43条） ⑤ 必要があると認めたときの臨時検査（約款第44条）
(2)	1.4.2材料の品質等	(1) 工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2) 使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (7) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(1) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄱ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7) 工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.8.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第43条及び第44条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。  
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
3. 特記事項の記載の[ ] 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。  
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。

章	項目	特記事項																						
1	① 工事実績情報 サービス(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4]																						
2	概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1.2.1]																						
3	③ 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査																						
4	品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ・地区の区分に応じた風速 (Vo (m/sec)) ・ 3.0 ・ 3.2 ・地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地域の指定 積雪区分 建造物第1455号 別表( )																						
5	工事の記録等	契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。 [1.2.4]																						
6	電気保安技術者	※要( ) [1.3.3]																						
7	発生材の処理等	1.0追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12]																						
8	特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。																						
9	施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1.6.2]																						
10	技能士	[1.7.2] <table><tr><th>適用工事種別</th><th>技能検定の職種</th></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金(内外装板金作業)</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>・サッシ施工 ・ガラス施工</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工(・ブラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業) ・タイル張り</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>・塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工</td></tr><tr><td>環境配慮改修工事</td><td>・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園</td></tr><tr><td>ブロック・ALC等補修工事</td><td>・ブロック建築 ・ALC等補修施工</td></tr><tr><td>石工事</td><td>・石材施工(石張り作業)</td></tr><tr><td></td><td>・</td></tr></table> ※ これにより難しい場合は監督員と協議する。	適用工事種別	技能検定の職種	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金(内外装板金作業)	外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工	建具改修工事	・サッシ施工 ・ガラス施工	内装改修工事	・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工(・ブラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業) ・タイル張り	塗装改修工事	・塗装(建築塗装作業)	耐震改修工事	・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工	環境配慮改修工事	・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園	ブロック・ALC等補修工事	・ブロック建築 ・ALC等補修施工	石工事	・石材施工(石張り作業)		・
適用工事種別	技能検定の職種																							
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金(内外装板金作業)																							
外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工																							
建具改修工事	・サッシ施工 ・ガラス施工																							
内装改修工事	・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工(・ブラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業) ・タイル張り																							
塗装改修工事	・塗装(建築塗装作業)																							
耐震改修工事	・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工																							
環境配慮改修工事	・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園																							
ブロック・ALC等補修工事	・ブロック建築 ・ALC等補修施工																							
石工事	・石材施工(石張り作業)																							
	・																							
11	見本施工	※実施する( ) [1.7.5]																						
12	化学物質の濃度測定	1.0追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1.7.9]																						
13	完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は、監督員の指示による。 提出部数等 (A1 部 ③ 1部 ④A Dデータ) [1.9.1～1.9.3] ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 ・仕上表 ・建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ・その他監督員が指示した図面																						
14	施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																						
15	工事完成写真	工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。 提出部数 2 部 同一箇所の改修前と改修後が比較出来るようにする。																						
16	工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(令和5年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 提出部数 1 部 印刷物若しくは電子データ(DVD 等のメディア)で提出する。  1.0追加特記 6「工事区分表」による。																						
17	設備工事との取合い																							

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策  
2 監督員事務所等

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 仮設建物等

⑥ 足場

⑦ 養生

8 仮設間仕切り

3 施工数量調査

2 防水の保証等

3 アスファルト防水

防水改修工法の種類

保護防水

露出防水

屋内防水

アスファルトの種類

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料

材料











⑩追加特記

1公共事業労務費調査への協力

2工事監理方式

3適用基準等

4総合図

5工事成績評定

※協力する

共同監理・有り・無し

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）  
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

※作成する

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	界	備 考	
躯体関係								
1.RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け	○	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	
	貫通孔・開口部の補強	○						
2.S・SRC造・はり貫通口	スリフ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		
	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリフ・補強	○						
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○				
	屋外・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押さえコンにアカーしない軽微なものの		○	○	○			
	機器取付け用フカ・架台		○	○	○			
	屋内受水タンクの基礎	○						
仕 上 げ 関 係								
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボードの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○			
	開口部の墨出し		○	○	○			
電 気 関 係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○	○	○		二次側	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側	
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○			
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）								
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△	小規模は要協議	
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△	小規模は要協議	
流し台、ガス台		○						
便所手洗いカウンター		○					衛生陶器は衛生設備	
洗面化粧台						○		
ガス漏れ警報器						○		
24h換気扇	機器納入					○	取付は電気設備	
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備	
湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備	
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備	

⑦発生材の処理等

1再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考

2建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名／施設名称
工事場所／施設所在地
連絡先
仮置場所の有無
備考

10追加特記

4建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	ボード類、木くず、廃プラスチック
処理施設名称	クラッシングセンター（株）
施設所在地	南魚沼市 茗荷沢 地内
連絡先	
備考	
上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。	
5建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。	
6自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。	
7協議について	
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。	

8化学物質の濃度測定

1)測定時期

[1.7.9]

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）

※トルエン（指定値0.07ppm以下）

※キシレン（指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）

※スチレン（指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・室（測定箇所 箇所）

・室（測定箇所 箇所）

・室（測定箇所 箇所）

4)測定方法

測定機器

※パッシブ型採取機器・監督員の承諾する機器

測定要領（パッシブ型測定法の場合）

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※測定は次のイ～ハによる。

イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5)測定結果の分析

測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7)報告書の提出

※測定結果の報告書を完了検査日までに監督員に提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9中間技術検査

低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

番号に○印を付けたものを適用する。

NO	APPR.	DRAWING	PROJECT TITLE	DATE	DRAWING No.
	種村	種村	後山小学校予防改修工事	2025.3.31	A-07
			改修工事特記仕様書（6）	F	

事務所登録 新潟県知事（へ） 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号



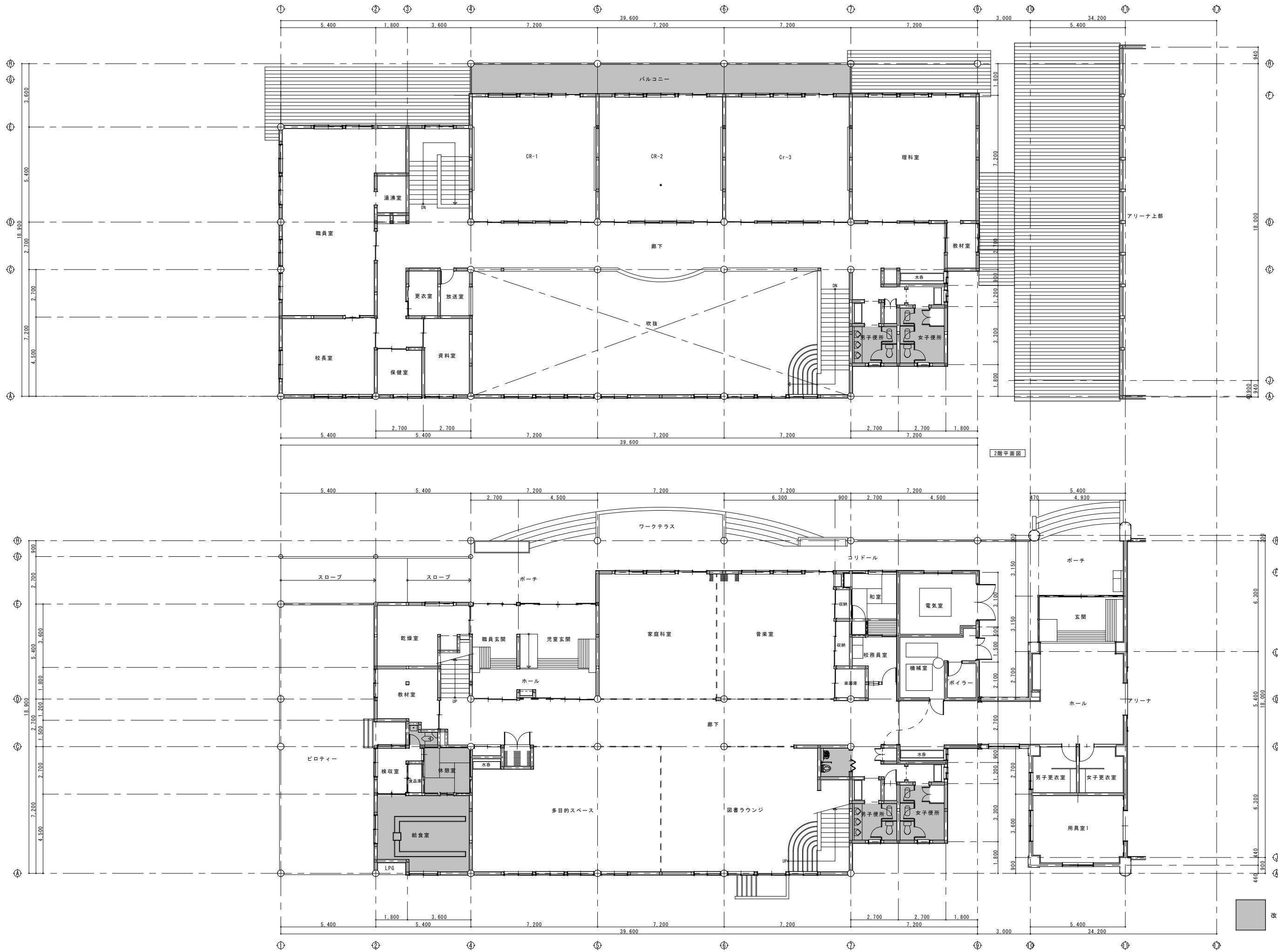
外部仕上げ表				工事概要									
		改修後		改修前			校舎棟	体育館棟	計				
地 覆	現状のまま清掃			コンクリート打放し補修		建築面積	716.04	812.69	1,528.73				
外 壁	既存杉板清掃後 浸透性木材保護塗料塗 東側一部既存杉板撤去後杉板 t=18横羽目張 浸透性木材保護塗料塗			構造用合板 t=12 7ｽﾌﾟﾙﾄﾌｴﾙﾄ 20kg 杉板 t=18横羽目張 浸透性木材保護着色塗料塗									
	既存ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ清掃後 EP塗 浮き釘打ち直し			一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=8 ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ									
屋 根	既存ｽﾃﾝﾚｽ板、7ｽﾌﾟﾙﾄﾌｴﾙﾄ撤去後7ｽﾌﾟﾙﾄﾌｴﾙﾄ 22kg ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t=0.4 横張			構造用合板 t=12 7ｽﾌﾟﾙﾄﾌｴﾙﾄ 22kg ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ t=0.4 横葺き		1階床面積	539.46	743.24	1,282.70				
	雪割：垂木45×75@450 構造用合板 t=12 7ｽﾌﾟﾙﾄﾌｴﾙﾄ 22kg ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t=0.4横張					2階床面積	499.95		499.95				
						計	1,039.41	743.24	1,782.65				
軒 天	清掃			ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP塗									
破風板	清掃			ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ巻									
鼻隠し	清掃			ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ巻									
手 摺	木製清掃後浸透性木材保護着色塗料塗			木製浸透性木材保護着色塗料塗									

内部仕上表 ※空欄は現状のままとする。

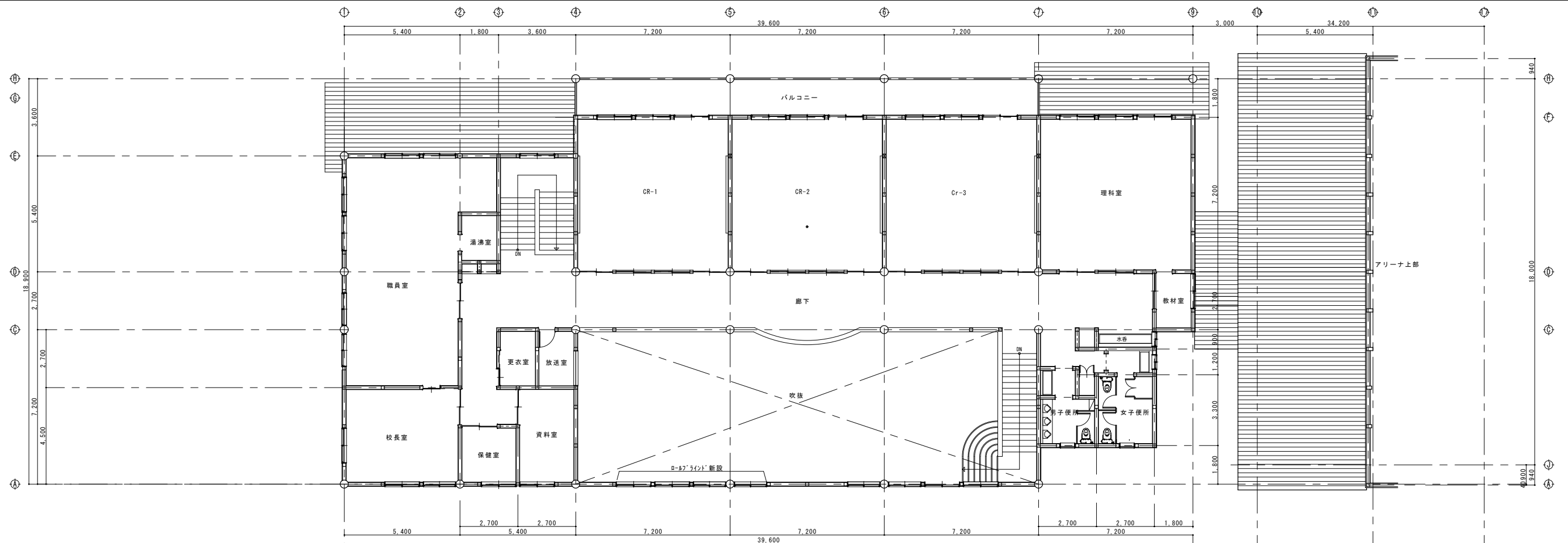
階	室 名		床		巾 木		壁		廻 縁		天 井		天井高		備 考
	改修後	現況	改修後	現況	改修後	現況	改修後	現況	改修後	現況	改修後	現況	改修後	現況	
1	児童玄関		磁器質100ｸﾞﾗﾑ強 ﾄﾙｸﾙ木履		磁器質ﾀｲﾙ H:200 ﾄﾙｸﾙ木履		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,170	
	職員玄関		磁器質100ｸﾞﾗﾑ強 ﾄﾙｸﾙ木履		磁器質ﾀｲﾙ H:200 ﾄﾙｸﾙ木履		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,170	
	ホール		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,940	
	多目的スペース		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9				ﾎｰﾙﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ8か所新設
	図書ラウンジ		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9				
	家庭科室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	音楽室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	同上楽器庫		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,400	
	同上収納庫		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	教材庫		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	
	乾燥室		合成樹脂塗床A ﾄﾙｸﾙ金履				ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=6 VP		塩ビ製		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,800	
	用務員室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=6 VP		塩ビ製		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,500	
	和 室		化学置 t=55 ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		畳 寄		ﾋﾞｰﾏﾙﾀﾞ貼 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12		木製		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 和室用			2,500	
	同上押入		しな合板 T I t=5.5		雑巾摺		石膏ﾙｰﾄﾞ t=12		木製		石膏ﾙｰﾄﾞ t=12			2,500	
	会議室	給食室	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12	合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履	木製 H:100 OSL	合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履 H:100	ﾋﾞｰﾏﾙﾀﾞ貼 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12	化粧ﾀｲﾍﾞﾙﾙｰﾙ板 t=5 ｼｰｼﾞﾝｼﾞﾝ 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9	塩ビ製	塩ビ製	化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 木軸天井下地		2,700	2,800	
		検収室	現状のまま 木製ｽﾎｰﾂﾞ1か所新設	合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履		合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履 H:100		化粧ﾀｲﾍﾞﾙﾙｰﾙ板 t=5 ｼｰｼﾞﾝｼﾞﾝ 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9		塩ビ製				2,800	
		食品庫		合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履		合成樹脂塗床B ﾄﾙｸﾙ金履 H:100		化粧ﾀｲﾍﾞﾙﾙｰﾙ板 t=5 ｼｰｼﾞﾝｼﾞﾝ 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9		塩ビ製					
	倉庫	休憩室	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12	化学置 t=55 ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12	雑巾摺	畳 寄	ﾋﾞｰﾏﾙﾀﾞ貼 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12		木製		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 和室用			2,400	
		便所	便器部分ｺﾝｸﾘｰﾄ金2ﾀﾞｲﾔﾙ	防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履		防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履 H:200		化粧ﾀｲﾍﾞﾙﾙｰﾙ板 t=5 ｼｰｼﾞﾝｼﾞﾝ 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9		塩ビ製				2,700	
	電気室			防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履		防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履 H:200		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修							ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
	機械室			防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履		防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履 H:200		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修							ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
	ボイラー室			防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履		防塵塗床 ﾄﾙｸﾙ金履 H:200		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修							ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
2	CR1～3		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	理科室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	職員室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	校長室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	保健室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	放送室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙ 32kg 寒冷紗張		木製 OSL		ﾋﾞｯｸﾞﾙ吸音板 t=9 石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	
	更衣室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	
	湯沸し室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP		塩ビ製		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,400	
	資料室		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			3,000	
	教材庫		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 SOP		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	
共通	廊 下		天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 腰：杉板 t=18 OSL H:800		木製 OSL		1階：石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 2階：化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	
	水香場		長尺塩ﾋﾞｰﾄﾞ t=2.0 ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12		木製 H:100 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP		木製 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,000	
	男子便所	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 1階ﾀﾞｲﾔﾙ t=40	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12	木製 H:100 OSL	木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12	1階のみ化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 木軸天井下地	木製 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,700	小便器下汚垂石貼
	女子便所	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12 1階ﾀﾞｲﾔﾙ t=40	天然木化粧複合合板 t=15 UP ﾌﾗｯｸ合板 T I t=12	木製 H:100 OSL	木製 H:100 OSL		しな合板 t=5.5 OSL 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12	1階のみ化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9 木軸天井下地	木製 OSL		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾄﾞ t=5 VP			2,700	
	階段室		ﾀﾞｲﾔﾙ成材 t=45 UP		ささら柵		しな合板 t=5.5 OSL 石膏ﾙｰﾄﾞ t=12		木製 OSL		化粧石膏ﾙｰﾄﾞ t=9			2,700	

凡 例													
SOP	合成樹脂調合ペイント	CL	クリアラッカー							PB-9.5	準不燃 QW-9828	VC	不燃 NW-9889
OP	油性調合ペイント	UC	ウレタン系ワニス							PB-12.5	不燃 NW-8619		
EnP	合成樹脂エマルジョンペイント	NP	自然系塗料							ｼﾞﾌﾞﾄｰ9.5	準不燃 QW-9824		
OS	オイルステイン	UP	ｶﾞﾗﾌｴﾝ塗料							FB-6	不燃 NW-8576		
OSL	オイルステインラッカー	VP	塩化ビニル樹脂エナメル										

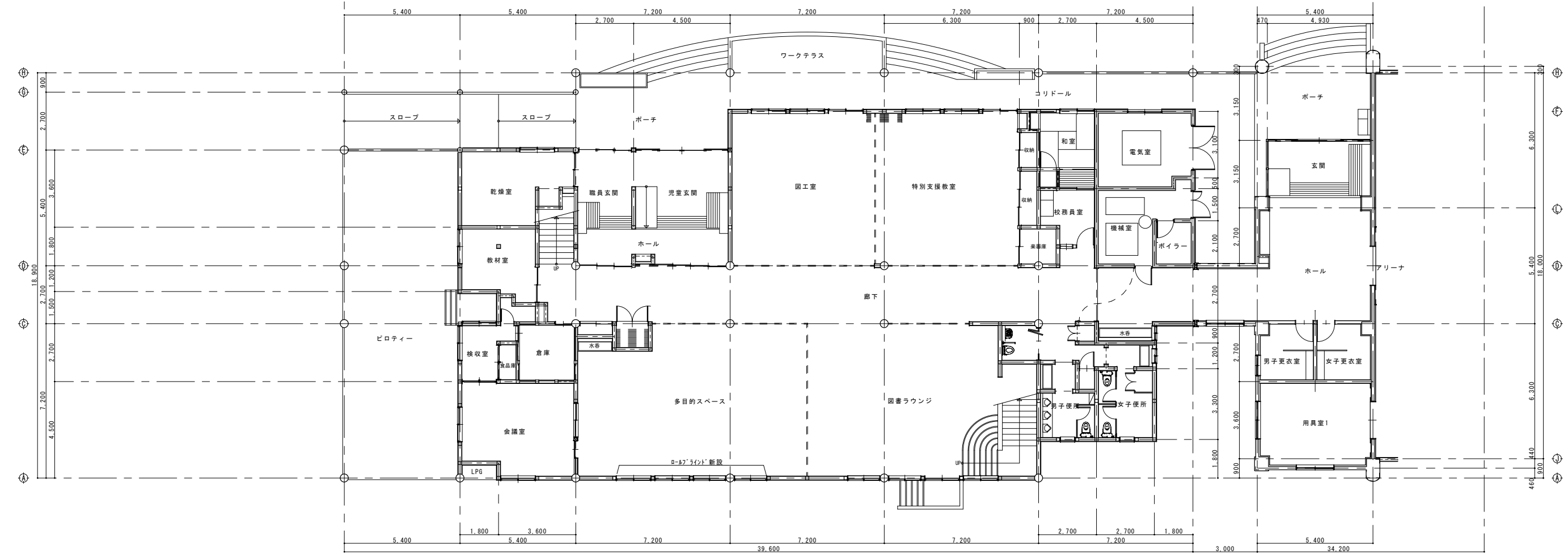




改修部分を示す。

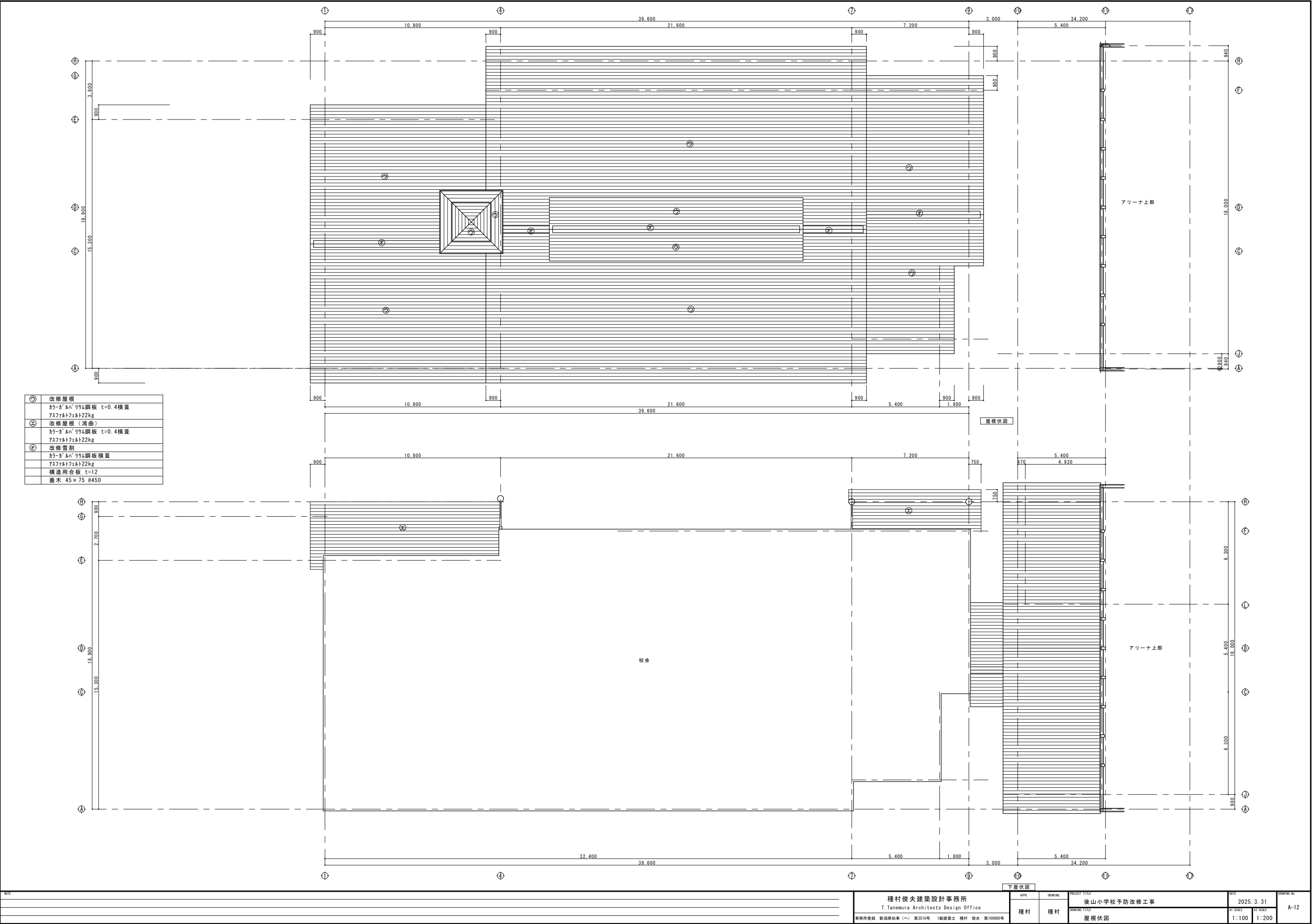


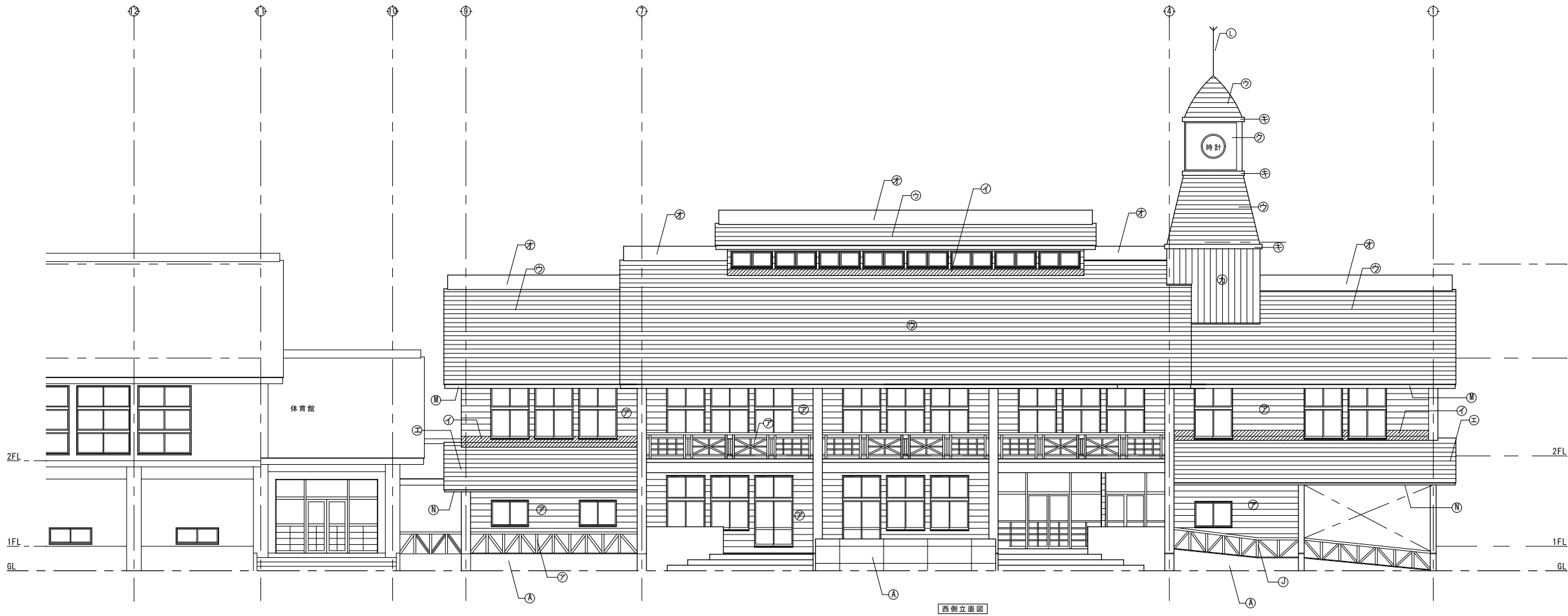
2階平面図



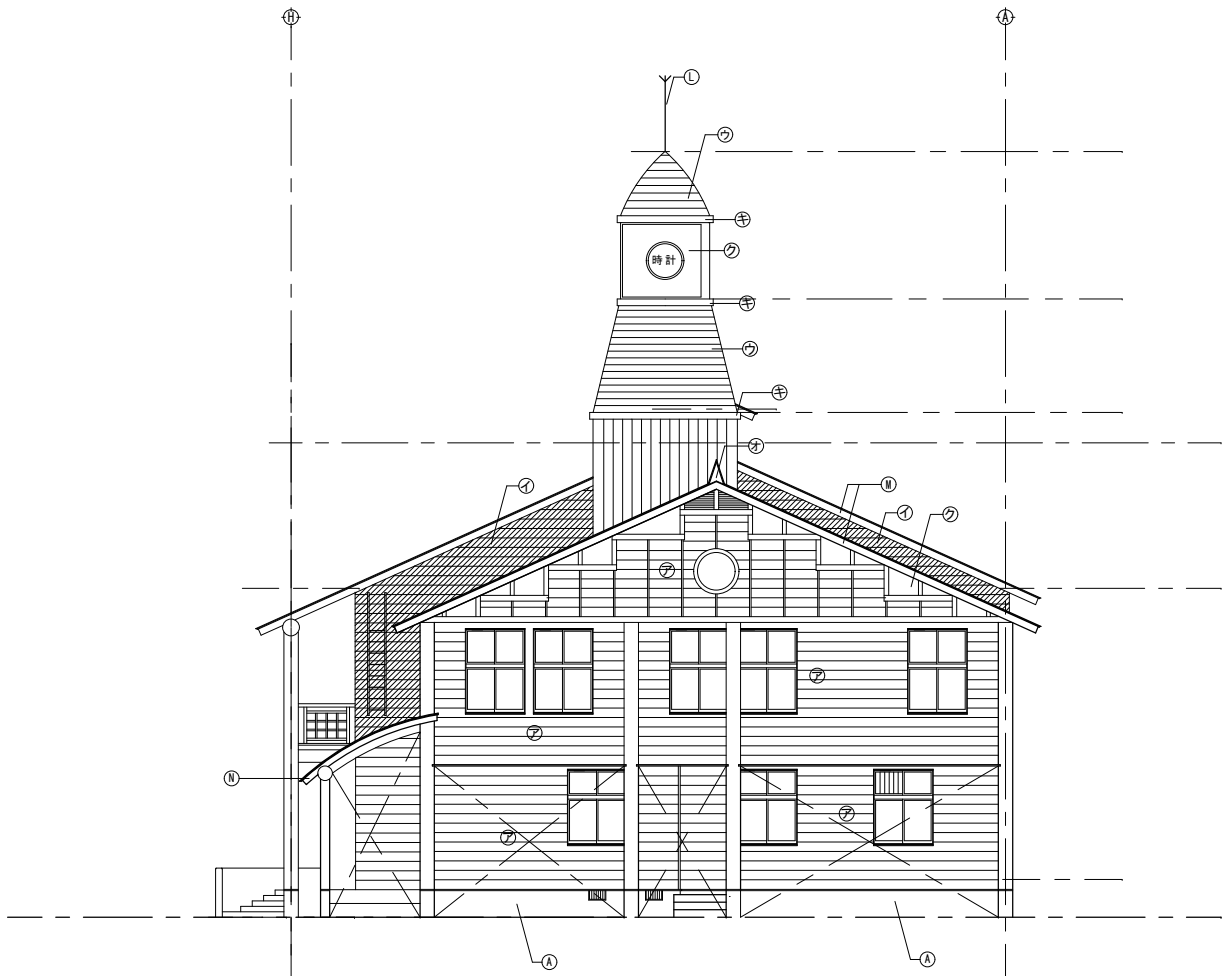
1階平面図

⑦	改修屋根
	ｶﾞﾗｽﾊﾞﾝﾄﾞ ﾘﾝｸﾞ鋼板 t=0.4横葺
	ﾌｽﾌﾞﾙﾌﾁﾋﾞ22kg
⑧	改修屋根 (湾曲)
	ｶﾞﾗｽﾊﾞﾝﾄﾞ ﾘﾝｸﾞ鋼板 t=0.4横葺
	ﾌｽﾌﾞﾙﾌﾁﾋﾞ22kg
⑨	改修雪割
	ｶﾞﾗｽﾊﾞﾝﾄﾞ ﾘﾝｸﾞ鋼板横葺
	ﾌｽﾌﾞﾙﾌﾁﾋﾞ22kg
	構造用合板 t=12
	垂木 45×75 @450





西側立面図



南側立面図

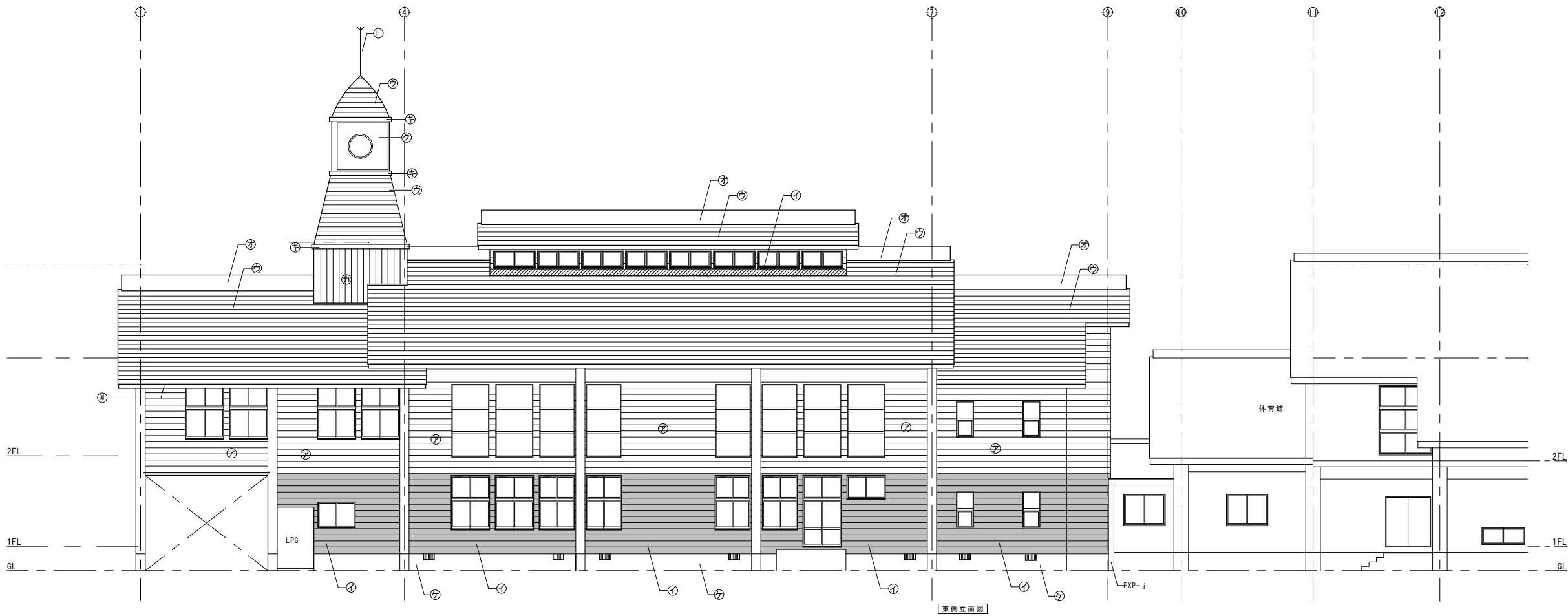
外部仕上表

(A)	地盤	コンクリート打放し補修仕上
(B)	窓木	杉板金戸 W:200
(C)	水切	角鉄板 t=0.4
(D)	外壁	杉板 t=18横羽目板張 (箱目地) スラット2x20kg シーリング板 t=12 フレキシブル t=8 フライク系吹付タイル
(E)	屋根	スラット加工
(F)	屋根	スラット t=0.4横張 スラット2x20kg 構造用合板 t=12
(G)	屋根	スラット t=0.4横張 スラット2x20kg 防音シート t=28 硬質木毛セメント板 t=18
(H)	雪割	スラット t=0.4横張
(I)	手摺	木製 H:900
(J)	手摺	木製 H:1100
(K)	避雷針	避雷針
(L)	破風板	スラット t=0.4加工 27x180下地
(M)	破風板	スラット t=0.4加工 27x150下地
(N)	外壁	角波鉄板張

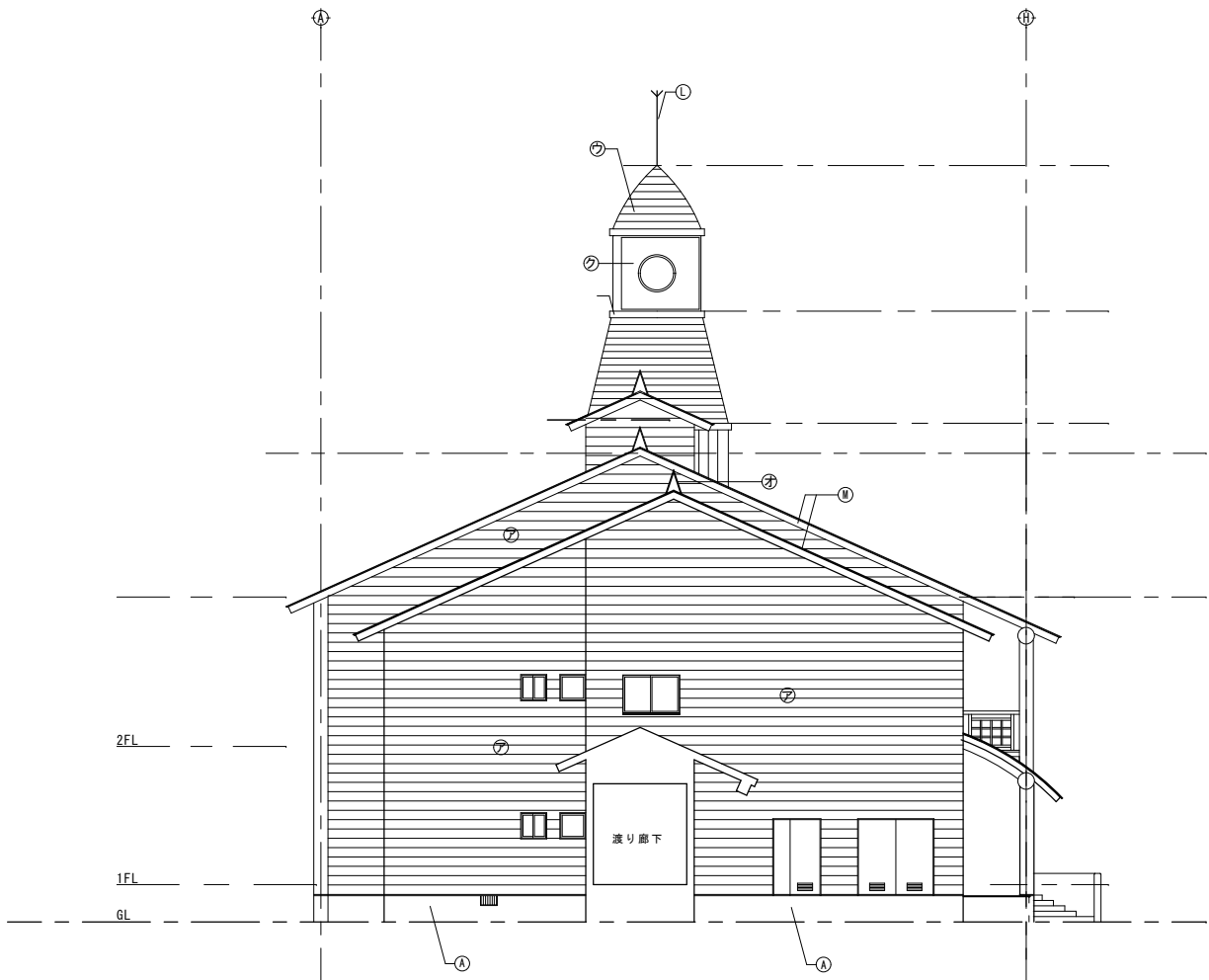
改修外部仕上表

(A)	改修外壁1 (柱・手摺等も含む)
(B)	杉板 t=18横羽目板高圧洗浄 浸透性木材保護着色塗料塗 スラット2x20kg (既存) 構造用合板 t=12 (既存)
(C)	改修外壁2
(D)	浸透性木材保護着色塗料塗 杉板 t=18横羽目板張替 (既存板撤去) スラット2x20kg 20kg張替 (既存品撤去)
(E)	改修屋根
(F)	スラット t=0.4横張 スラット2x20kg
(G)	改修屋根 (湾曲)
(H)	スラット t=0.4横張 スラット2x20kg
(I)	改修雪割
(J)	スラット t=0.4横張
(K)	スラット2x20kg
(L)	構造用合板 t=12
(M)	垂木 45x75 @450
(N)	角波鉄板張
(O)	スラット加工見切縁
(P)	フレキシブル t=8 SOP塗





東側立面図



北側立面図

外部仕上表

㉑	地盤	コンクリート打放し補修仕上
㉒	窓木	杉板金戸 W:200
㉓	水切	ステン鉄板 t=0.4
㉔	外壁	杉板 t=18横羽目板張 (箱目地) スチールパイプ t=20kg シーリング t=12 フレキシブル t=8 フライク系吹付タイル
㉕	屋根	スチール加工
㉖	屋根	スチール t=0.4横張 スチール t=22kg 構造用合板 t=12
㉗	屋根	スチール t=0.4横張 スチール t=22kg 防音シート t=28 硬質木毛セメント板 t=18
㉘	雪割	スチール t=0.4横張
㉙	手摺	木製 H:900
㉚	手摺	木製 H:1100
㉛	避雷針	避雷針
㉜	破風板	スチール t=0.4加工
㉝	鼻隠し	27×180下地
㉞		スチール t=0.4加工
㉟		27×150下地

改修外部仕上表

㉑	改修外壁1 (柱・手摺等も含む)
	杉板 t=18横羽目板高圧洗浄
	浸透性木材保護着色塗料塗
	スチールパイプ (既存)
	構造用合板 t=12 (既存)
㉒	改修外壁2
	浸透性木材保護着色塗料塗
	杉板 t=18横羽目板張替 (既存板撤去)
	スチールパイプ 20kg張替 (既存品撤去)
㉓	改修屋根
	スチール t=0.4横張
	スチール t=22kg
㉔	改修屋根 (湾曲)
	スチール t=0.4横張
	スチール t=22kg
㉕	改修雪割
	スチール横張
	スチール t=22kg
	構造用合板 t=12
	垂木 45×75 @450
㉖	角波鉄板張
㉗	スチール加工見切縁
㉘	フレキシブル t=8 SOP塗
㉙	高圧洗浄

NOTE

種村俊夫建築設計事務所

T. Tanemura Architects Design Office

事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号

APPR.

DRAWING

PROJECT TITLE

DATE

DRAWING No.

AS SCALE

AS SCALE

1:100

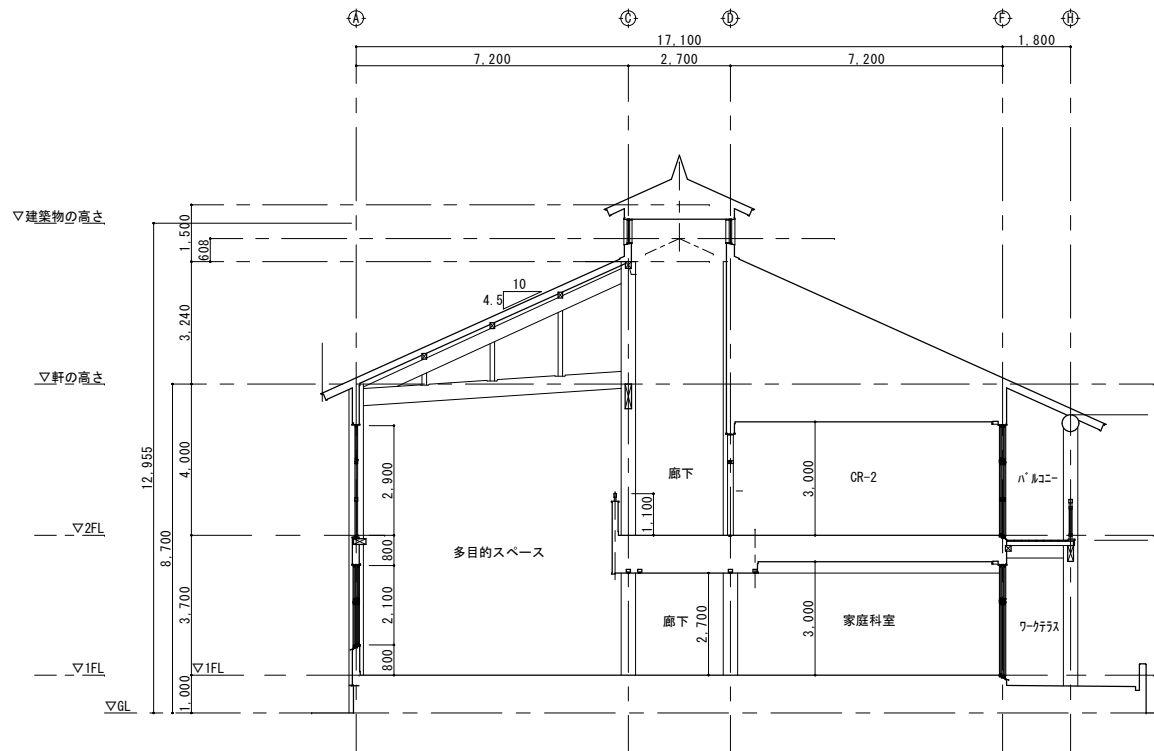
1:200

2025. 3. 31

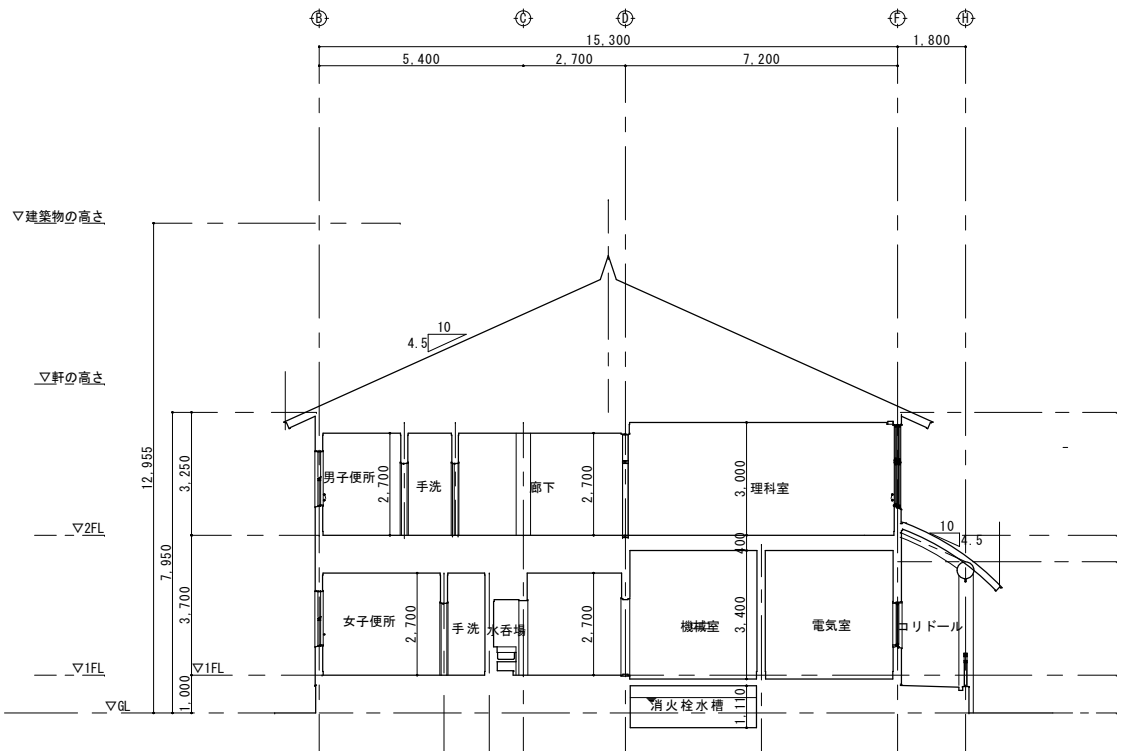
A-14

後山小学校予防改修工事

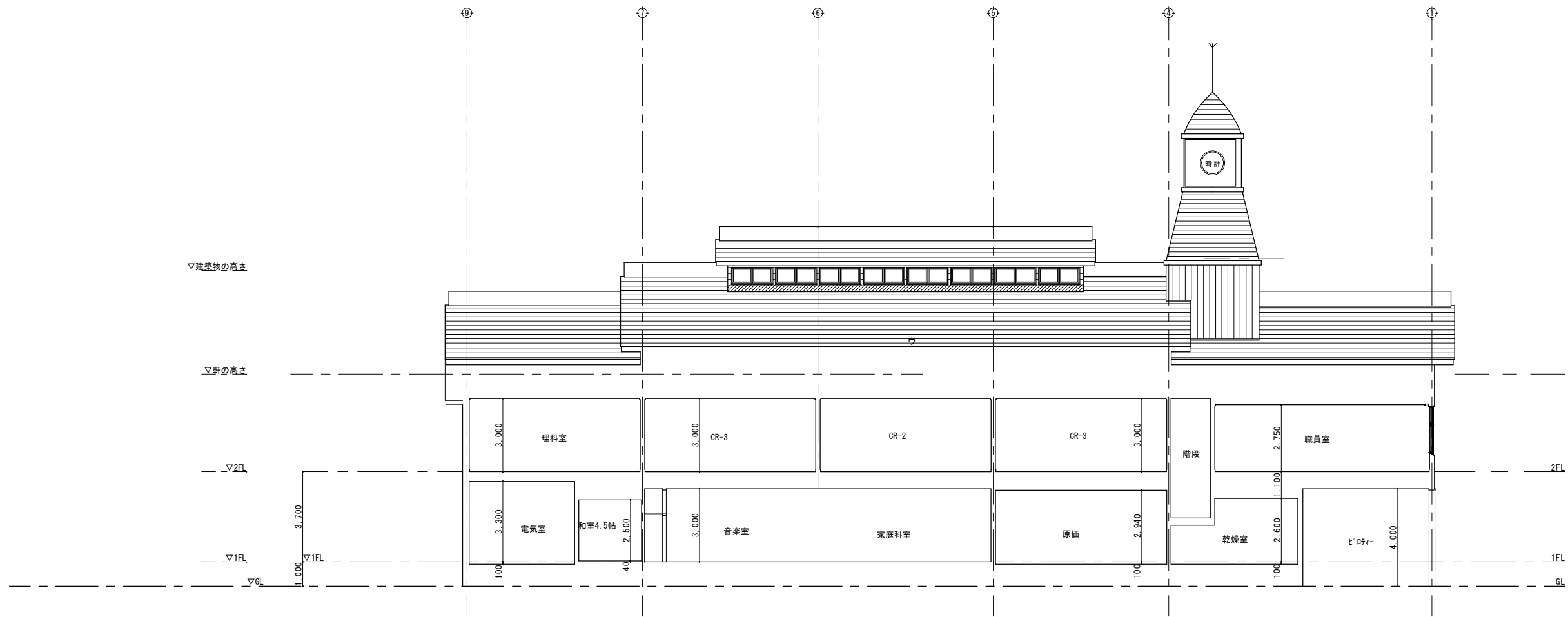
立面図 (2)



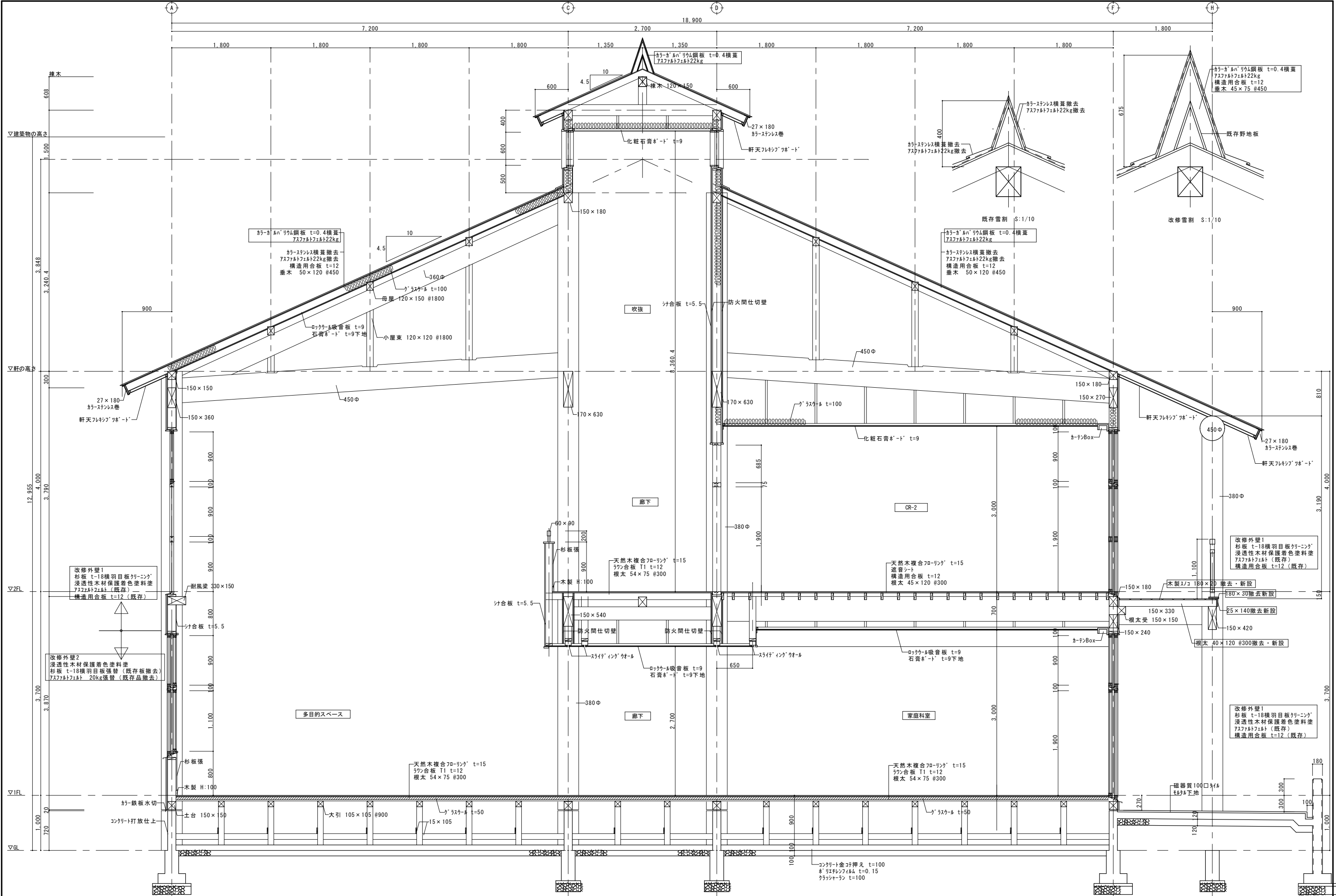
断面図

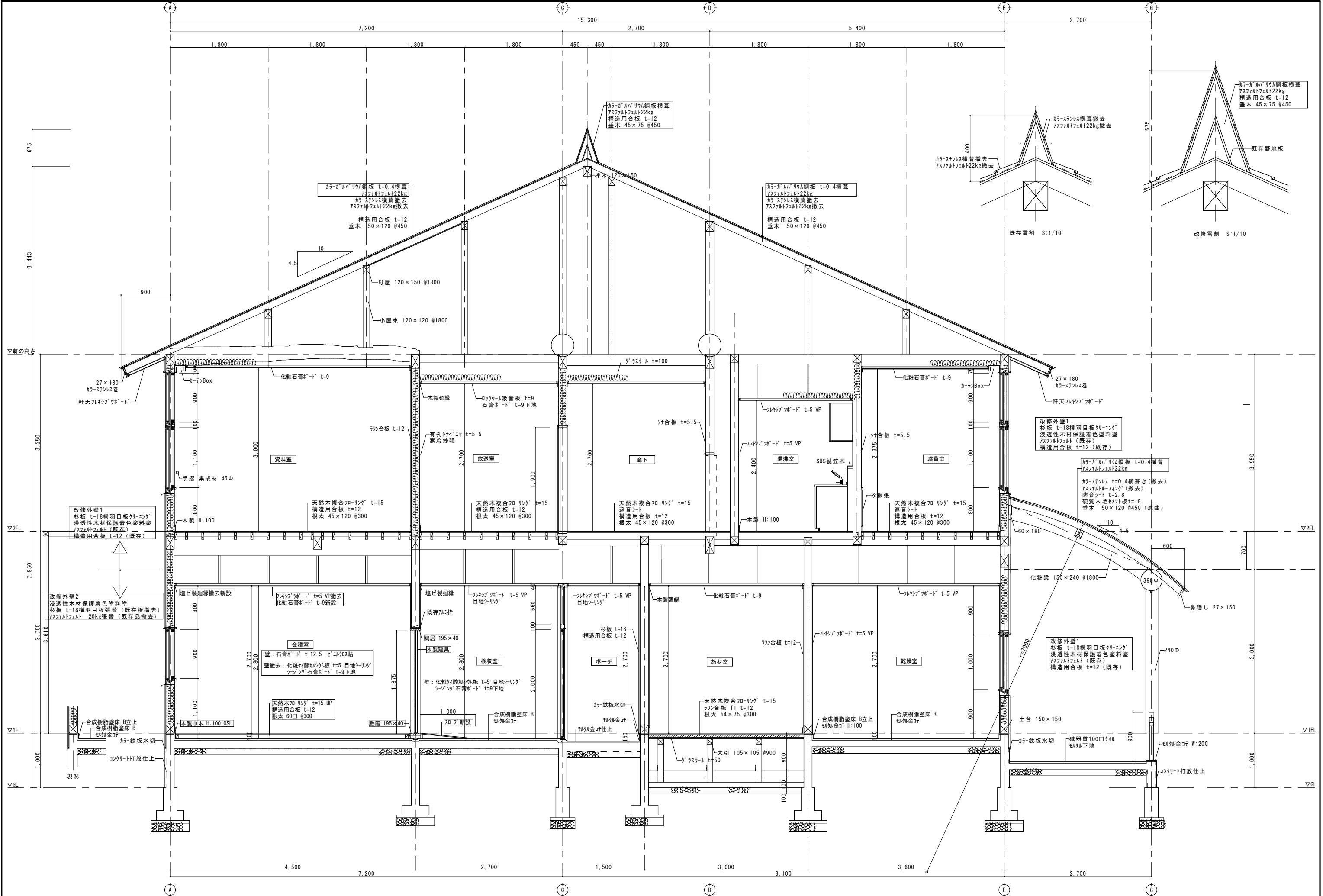


断面図

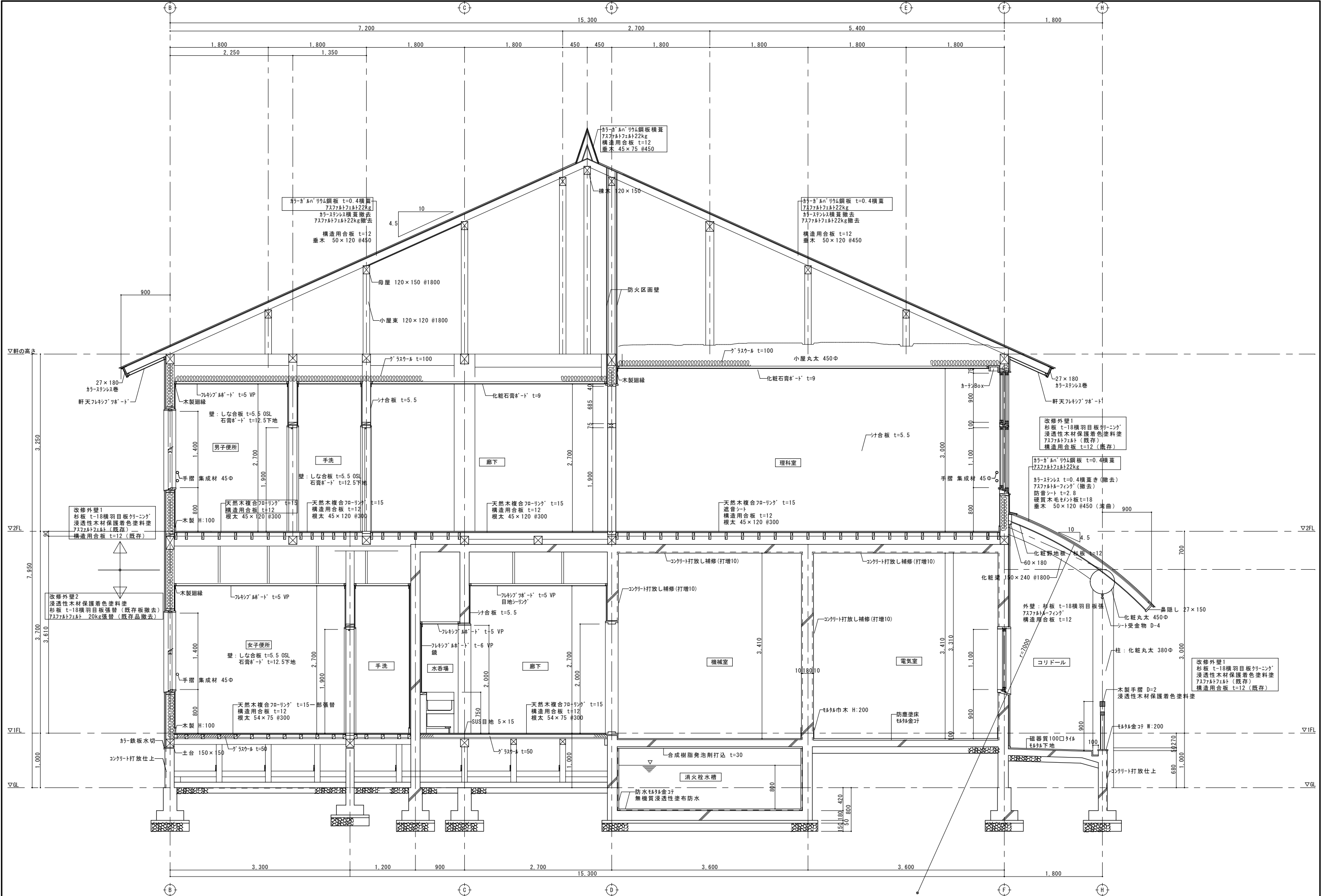


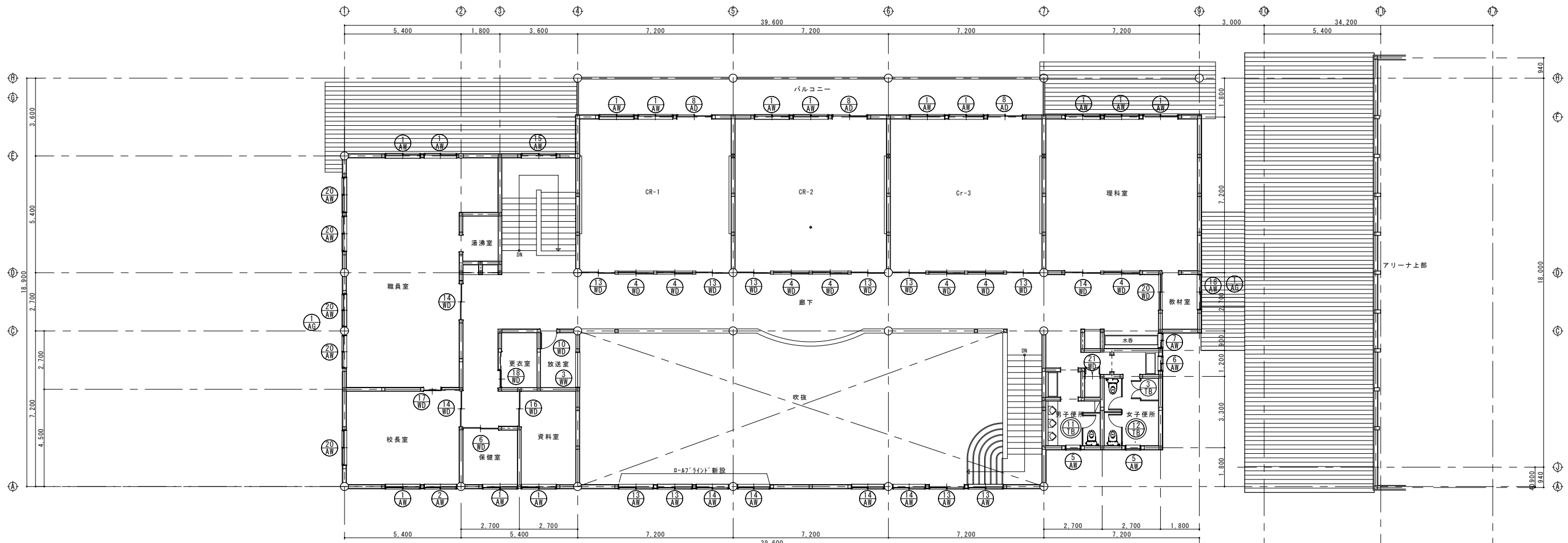
断面図



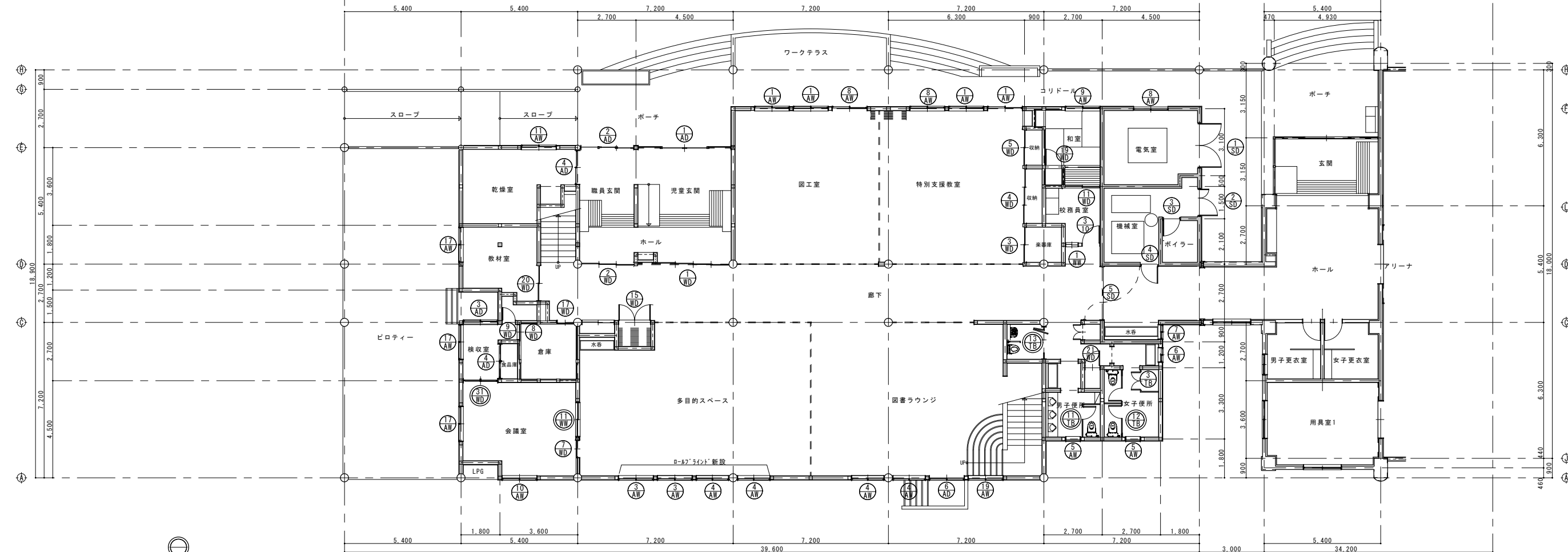


NOTE		種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office		APPR.	DRAWING	PROJECT TITLE	DATE	DRAWING No.
		事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第169860号		種村	種村	後山小学校予防改修工事 矩計図 (2)	2025. 3. 31	A-17
							AS SCALE 1:30	DS SCALE 1:60





2階平面図



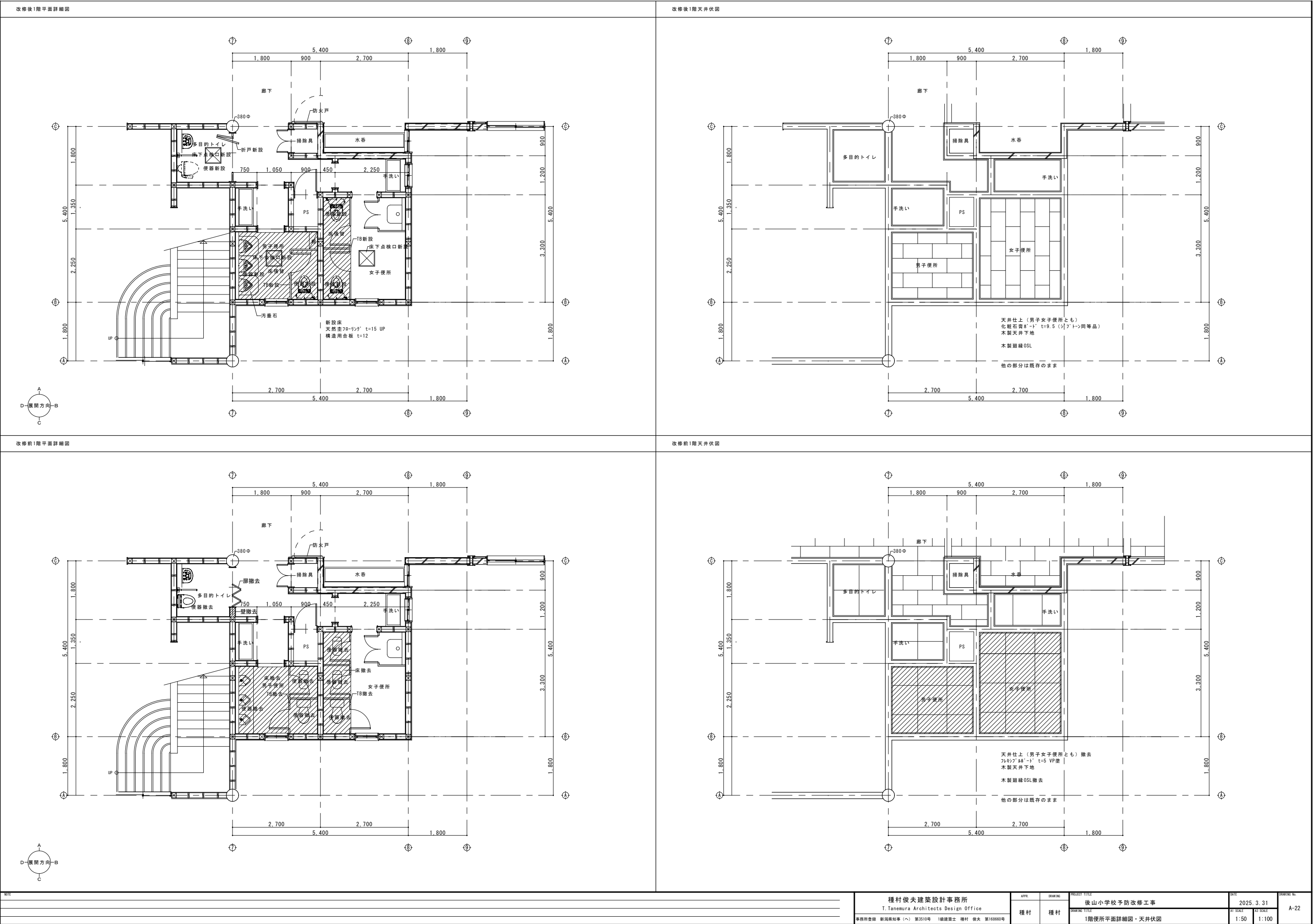
1階平面図

新設建具を示す。



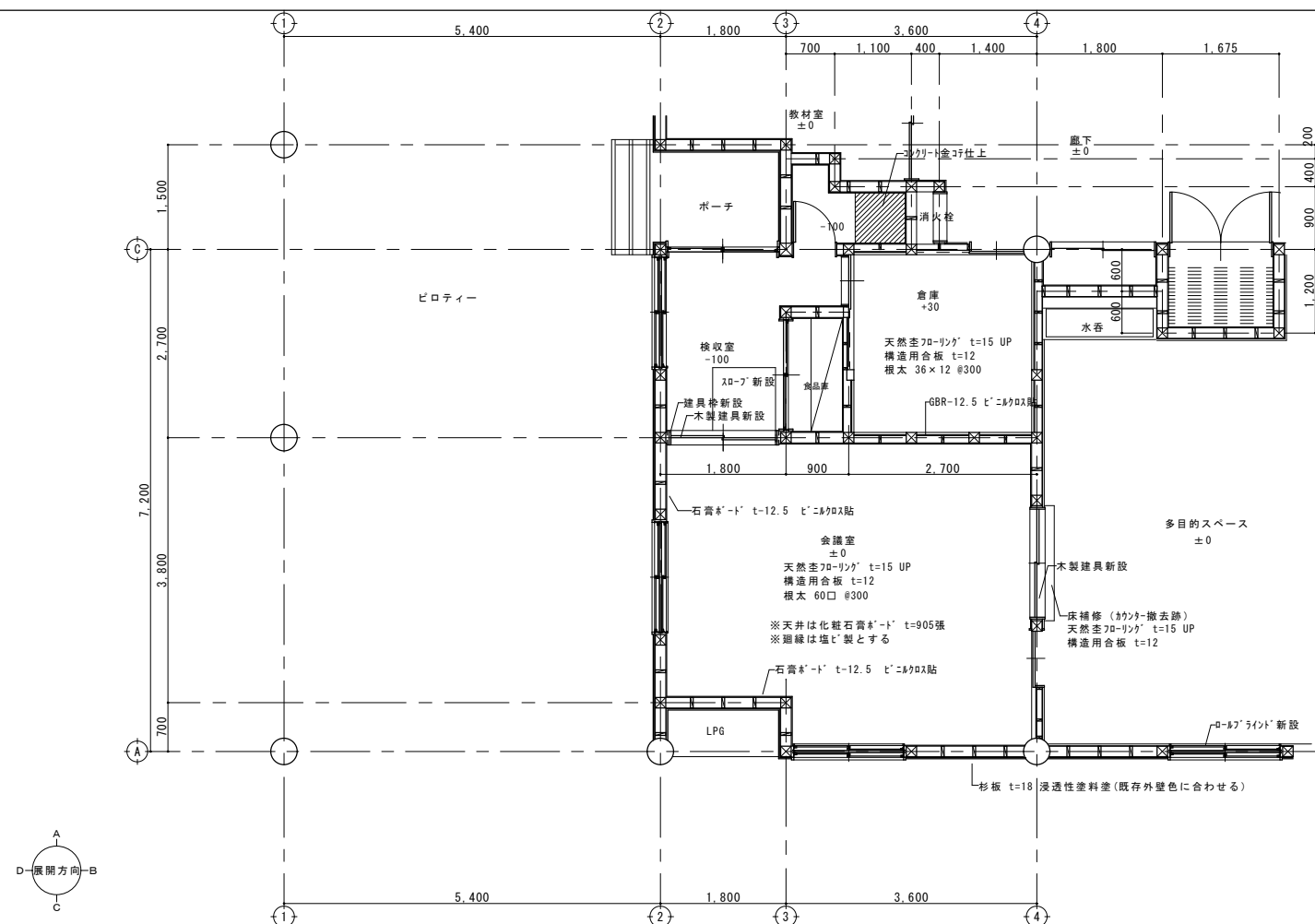




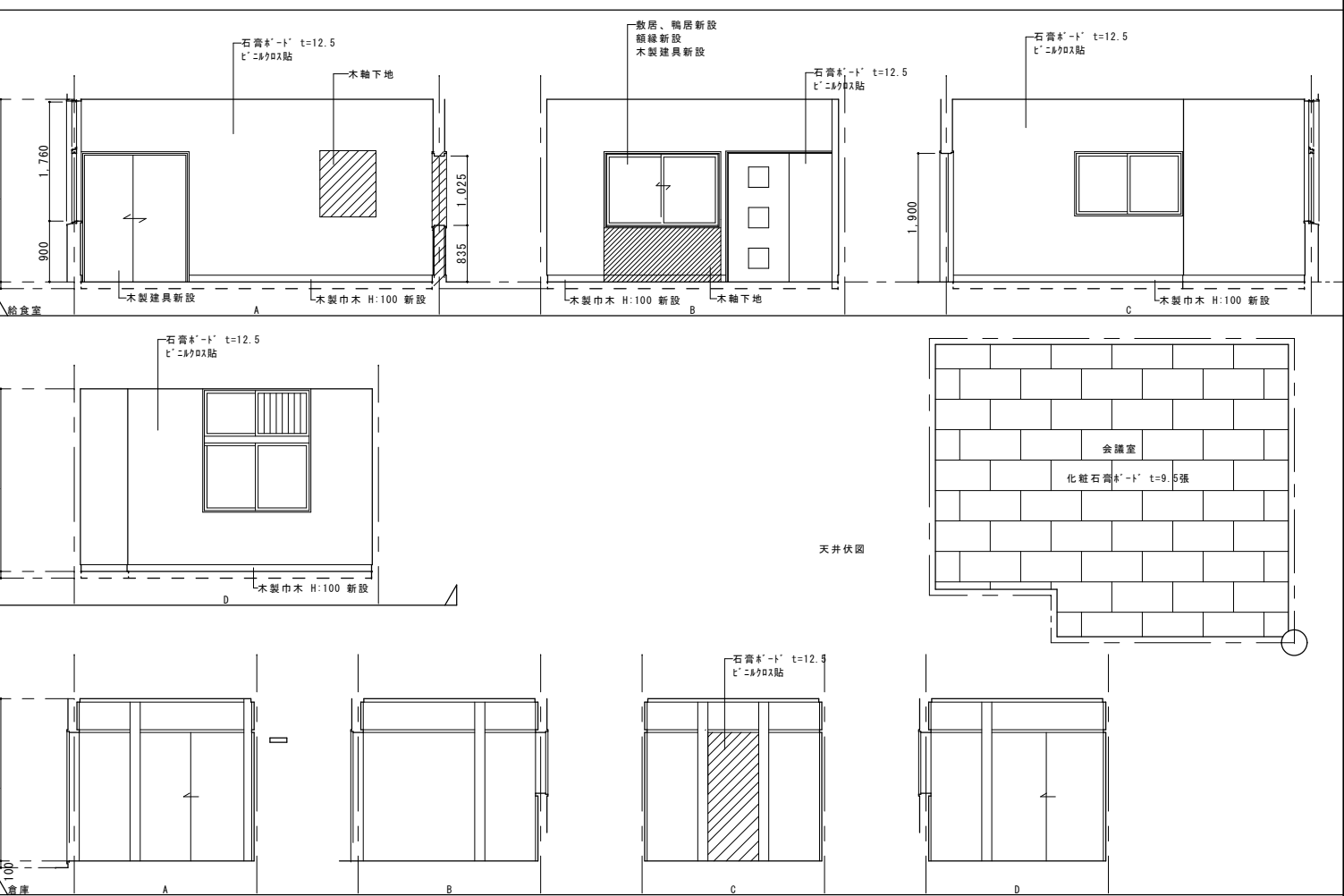




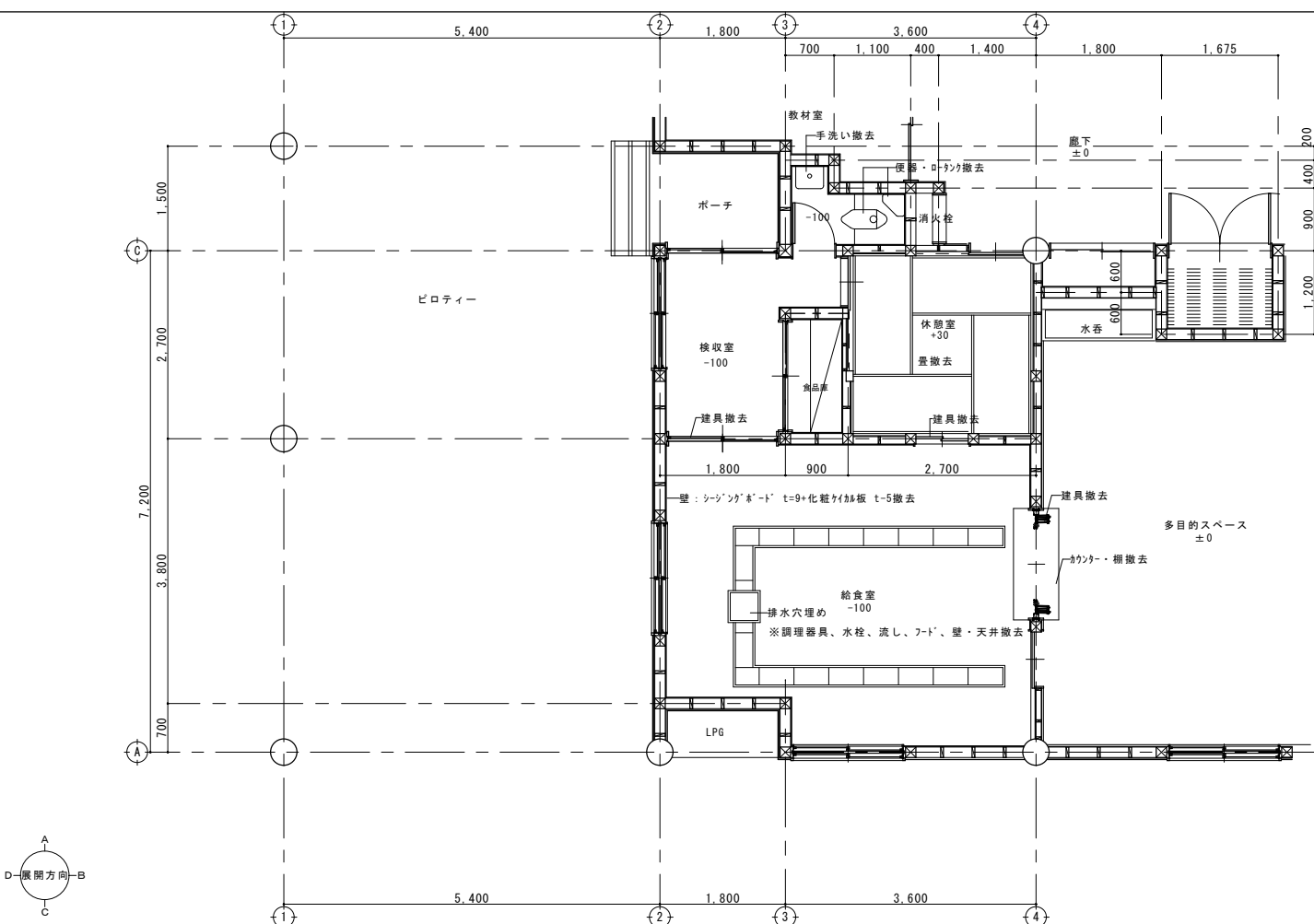
改修後1階平面詳細図



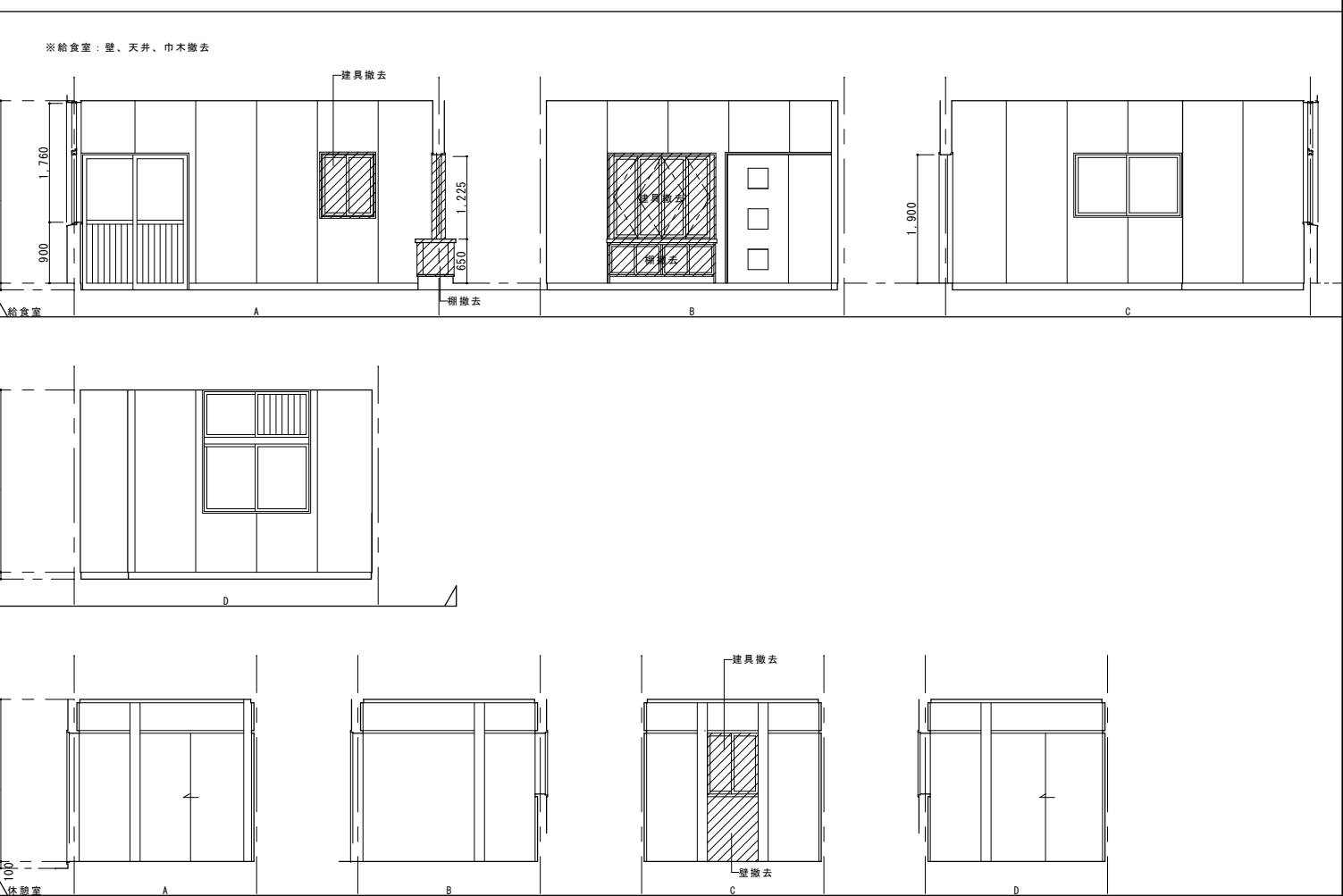
改修後1階展開図



改修前1階平面詳細図

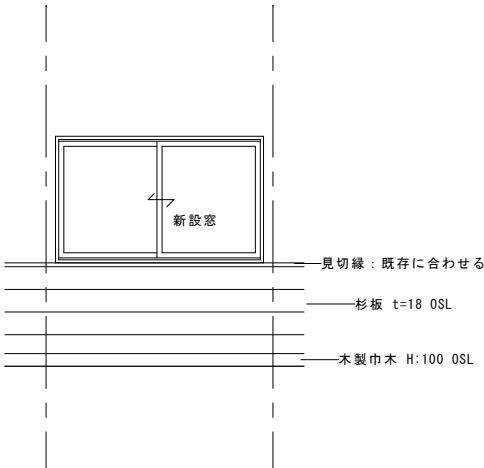
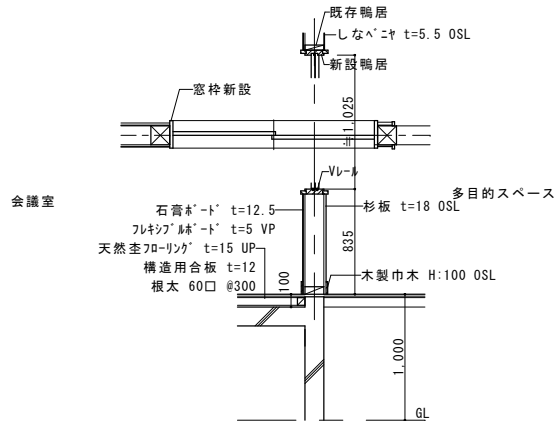
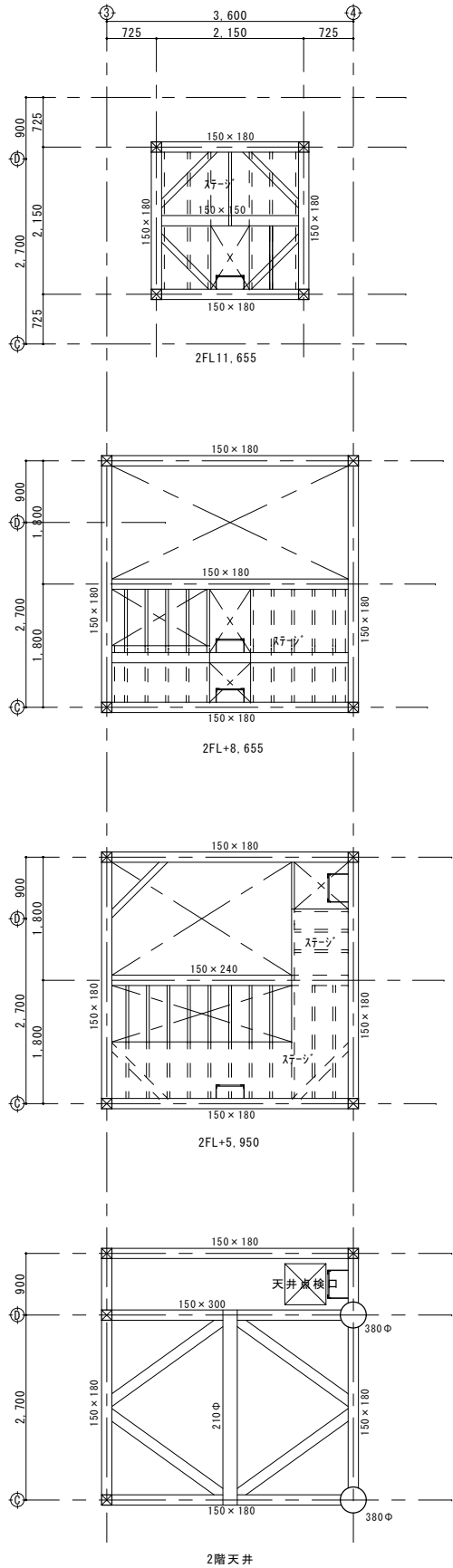
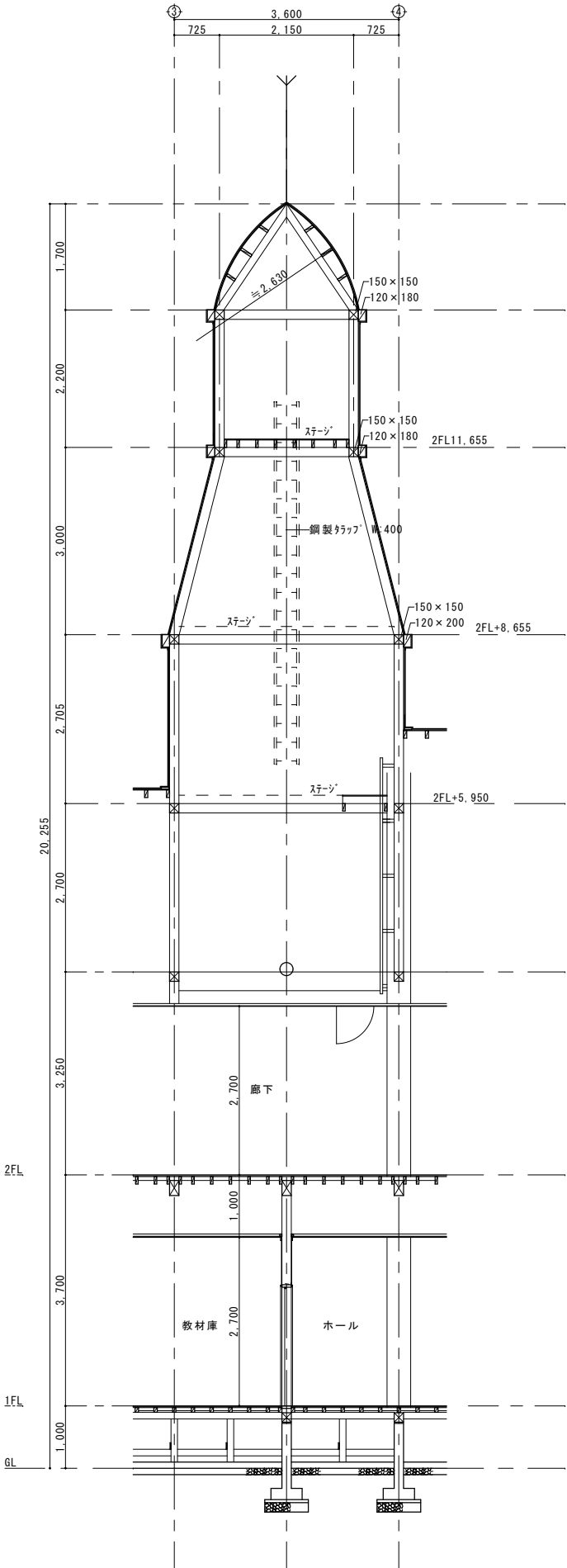


改修前1階展開図



NOTES

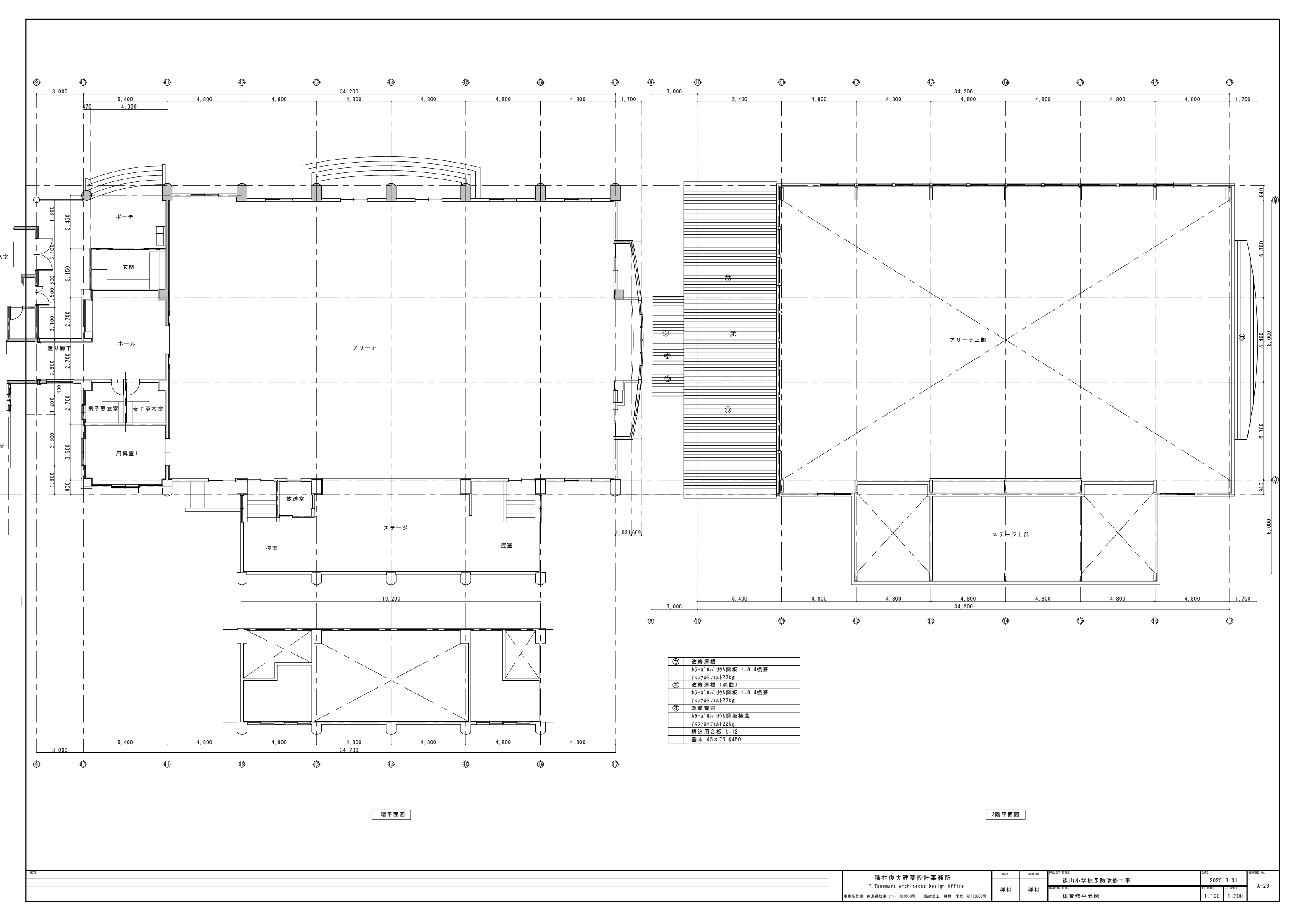
		種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office		後山小学校 予防改修工事		2025. 3. 31		A-24
		種村	種村	DRAWING TITLE		AS SCALE	BS SCALE	
事務所登録 新潟県知事（ハ） 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号				1階平面詳細図・展開図		1:50	1:100	



NOTE	

種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office 事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号	APPR.	DRAWING	PROJECT TITLE	DATE	DRAWING NO.
	種村	種村	後山小学校予防改修工事	2025. 3. 31	A-25
			DRAWING TITLE	AS SCALE	AS SCALE
			詳細図	図示	

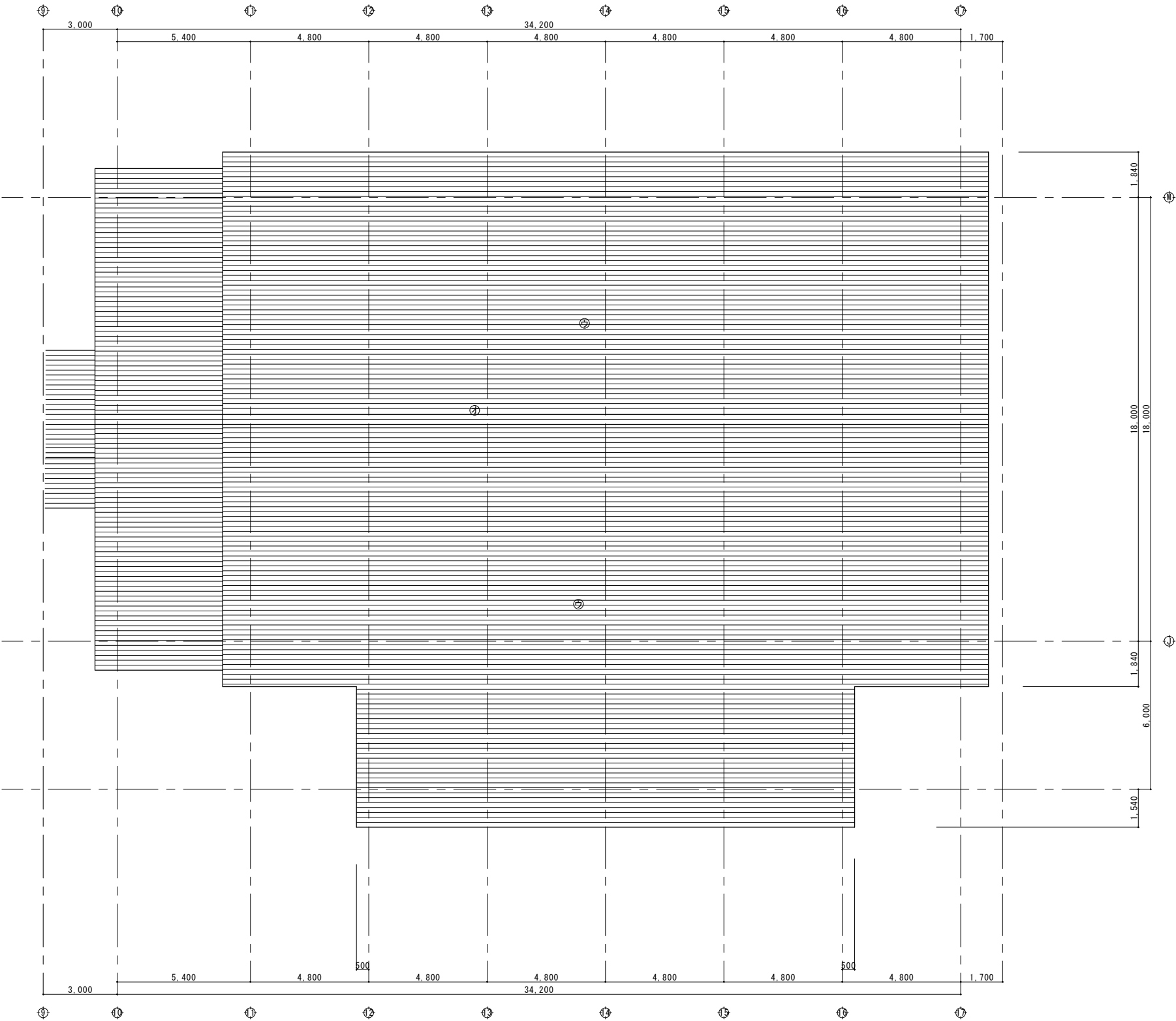




1階平面図

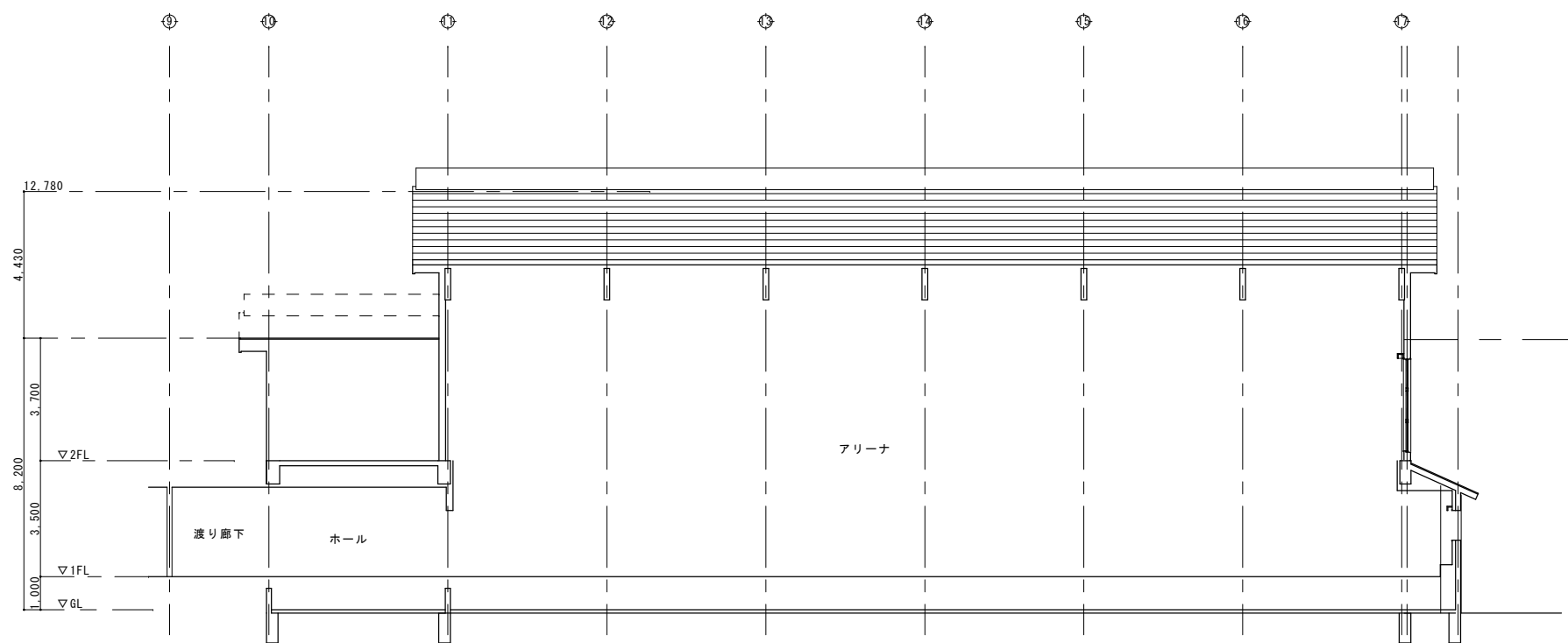
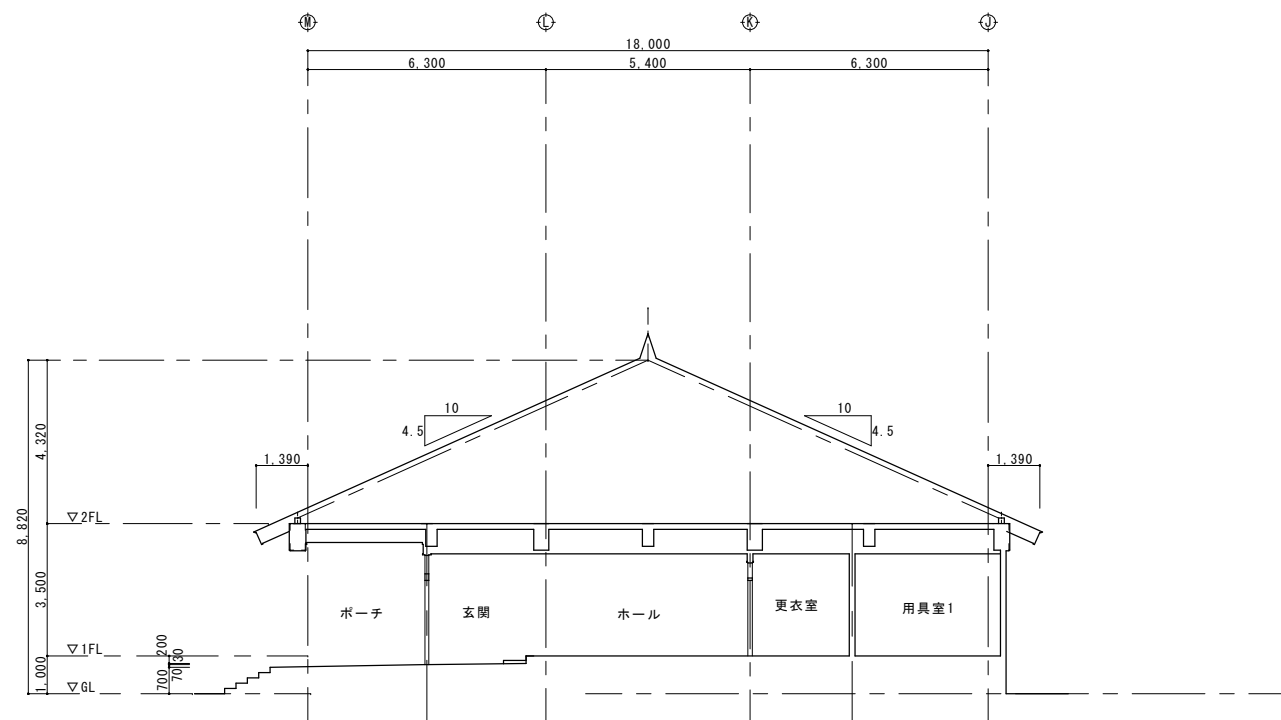
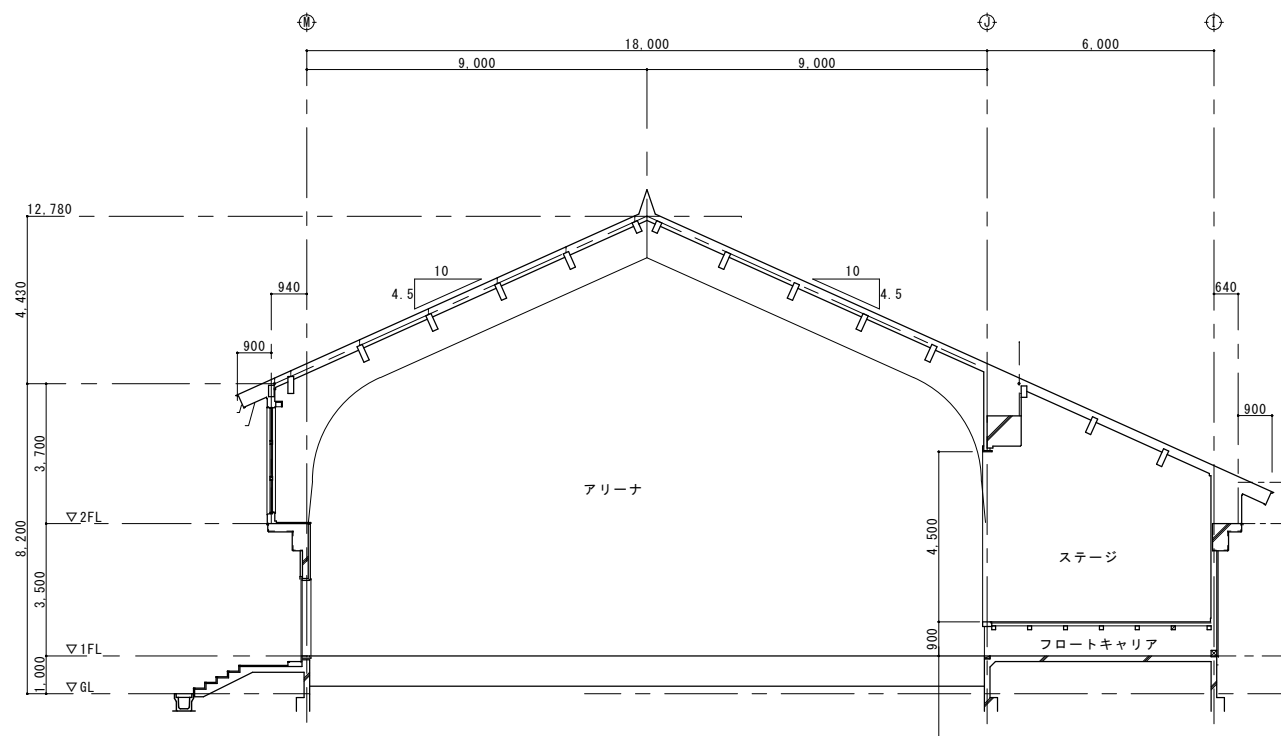
2階平面図

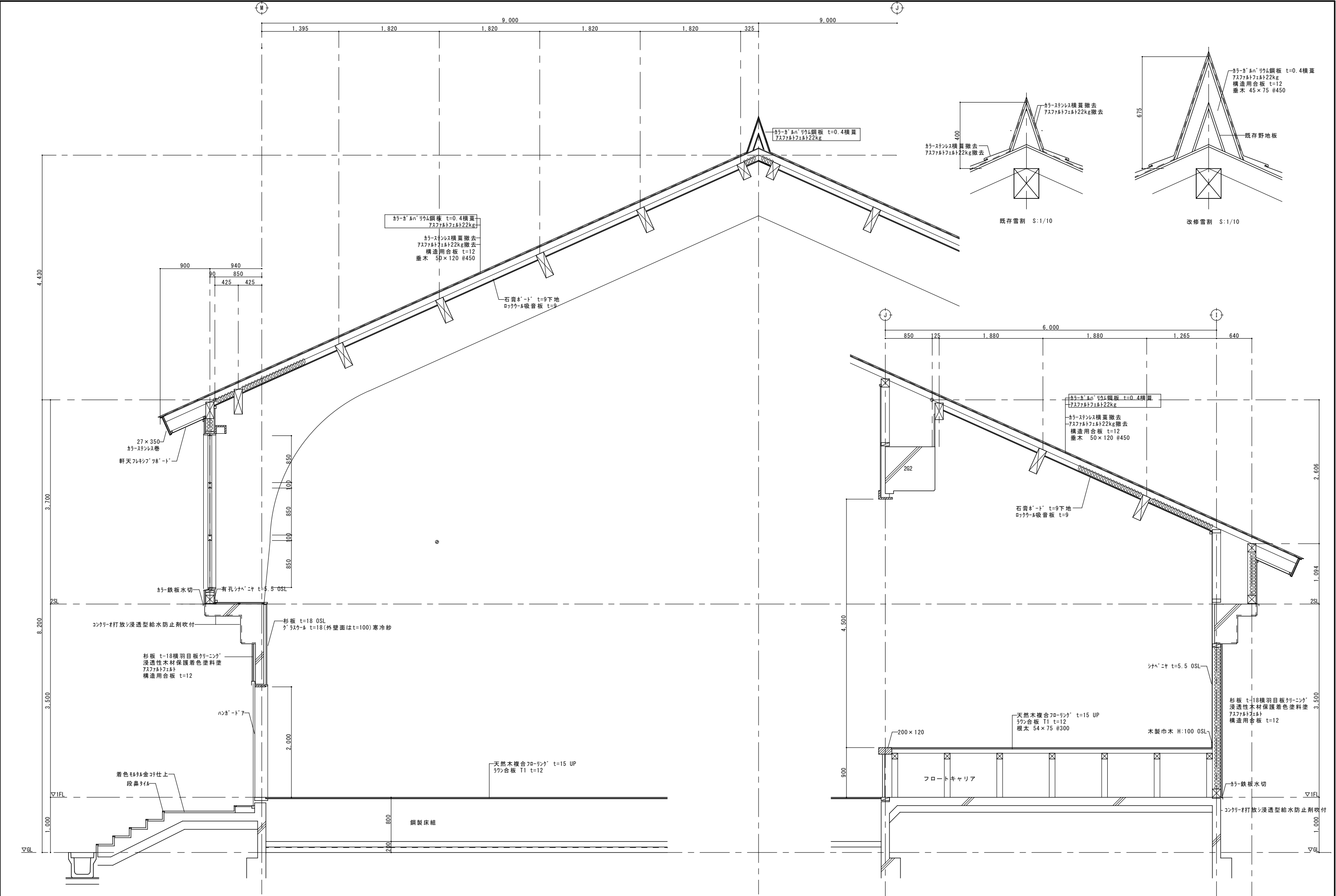
㊦	改修屋根
ガラ・ガ'ルハ'リウム鋼板 t=0.4横葺	
アスファルト22kg	
㊧	改修屋根 (湾曲)
ガラ・ガ'ルハ'リウム鋼板 t=0.4横葺	
アスファルト22kg	
㊨	改修雪割
ガラ・ガ'ルハ'リウム鋼板横葺	
アスファルト22kg	
構造用合板 t=12	
垂木 45×75 @450	



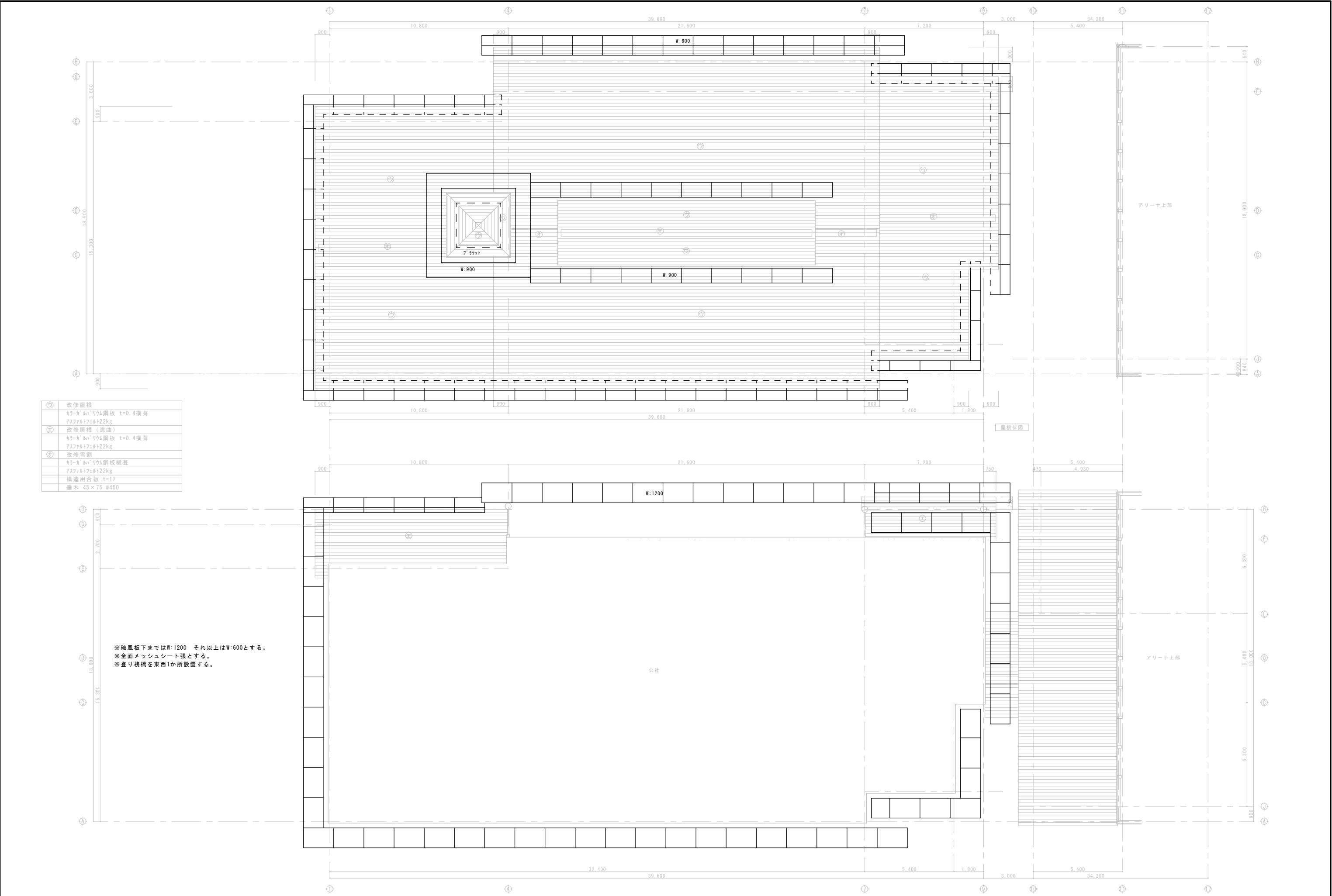
⑦	改修屋根
	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4横葺
	75ﾌﾟﾗﾙﾄﾌｪﾙﾄ22Kg
⑧	改修屋根（湾曲）
	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4横葺
	75ﾌﾟﾗﾙﾄﾌｪﾙﾄ22Kg
⑨	改修雪割
	カラーガルバリウム鋼板横葺
	75ﾌﾟﾗﾙﾄﾌｪﾙﾄ22Kg
	構造用合板 t=12
	垂木 45×75 @450





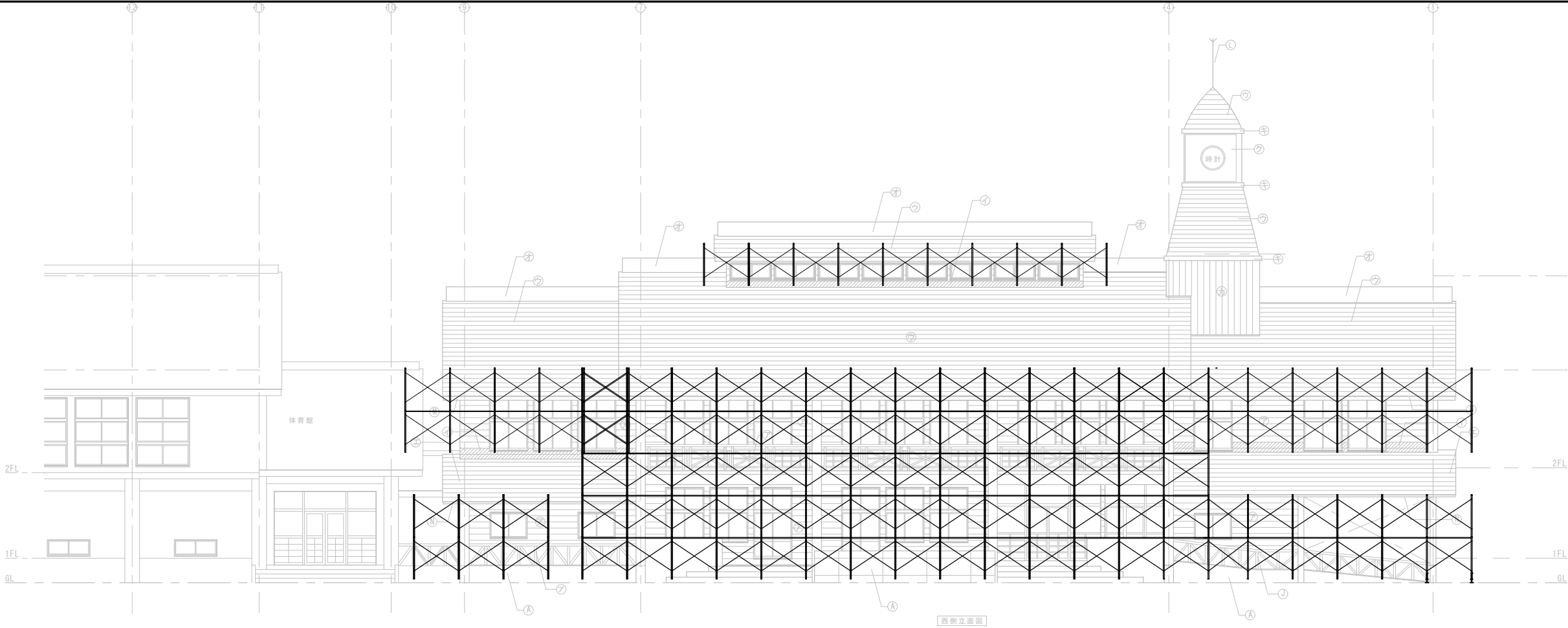


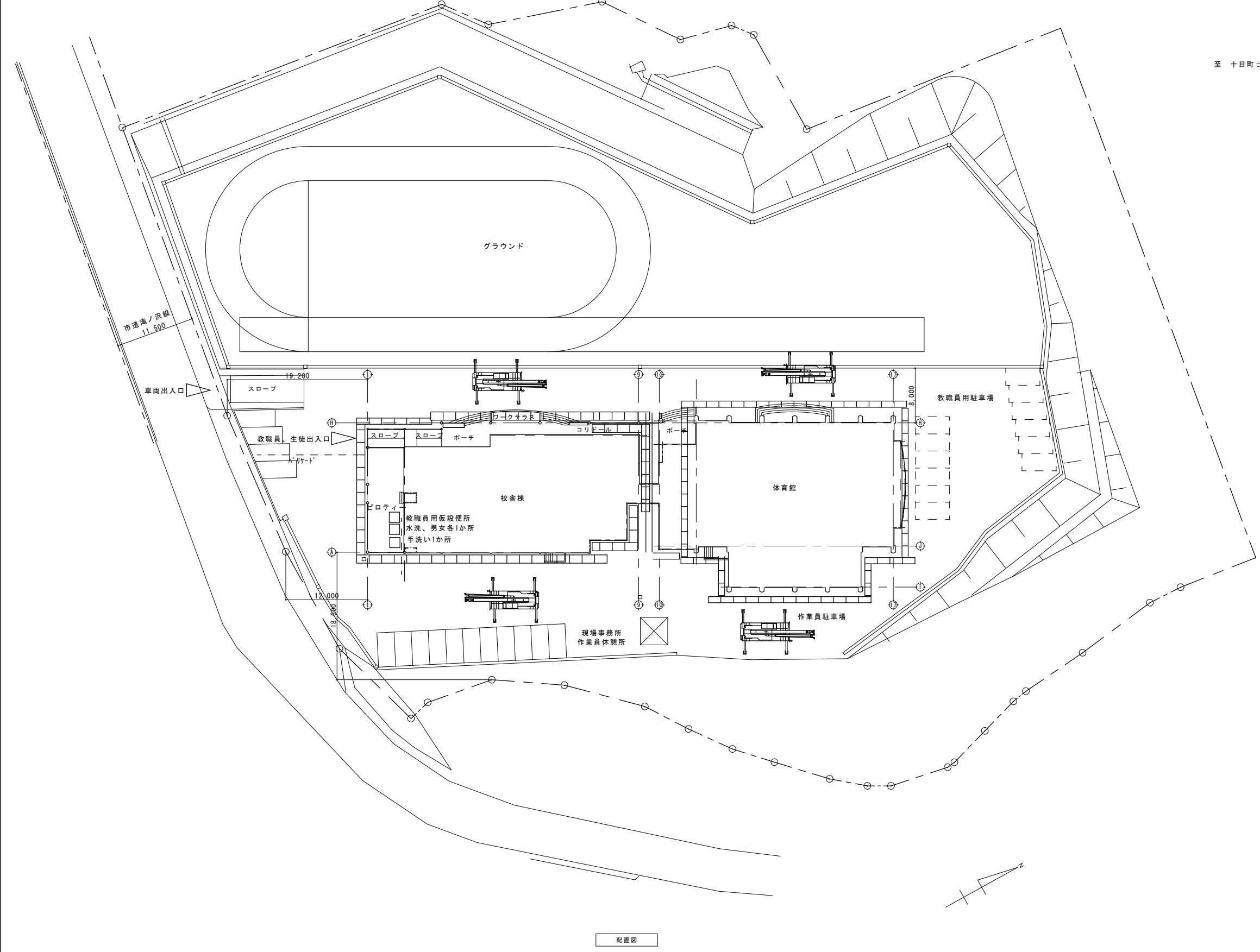
NOTE	種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office		APPR.	DRWING	PROJECT TITLE	DATE	DRAWING No.
	事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号		種村	種村	後山小学校予防改修工事 矩計図	2025. 3. 31	A-30
						AS SCALE 1:30 DS SCALE 1:60	



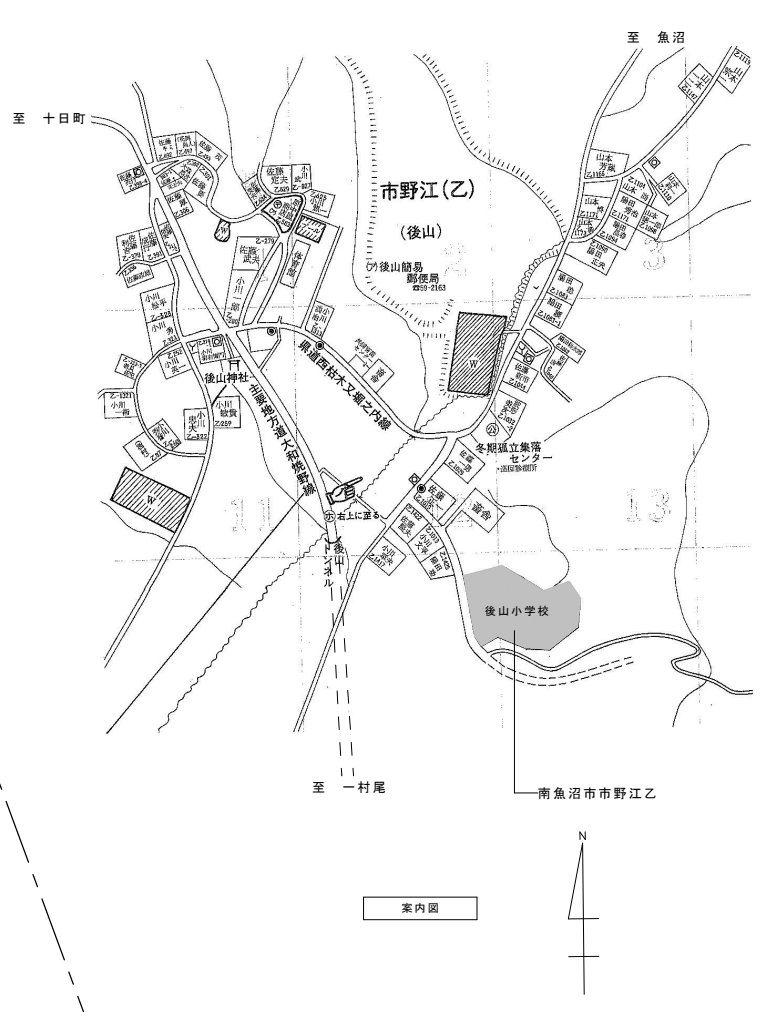
㊦	改修屋根
カラーガルン リウム鋼板 t=0.4横葺	
アスファルトフェルト22kg	
㊦	改修屋根（湾曲）
カラーガルン リウム鋼板 t=0.4横葺	
アスファルトフェルト22kg	
㊦	改修雪割
カラーガルン リウム鋼板横葺	
アスファルトフェルト22kg	
構造用合板 t=12	
垂木 45×75 ㊦450	

※破風板下まではW:1200 それ以上はW:600とする。  
※全面メッシュシート張とする。  
※登り機橋を東西1か所設置する。



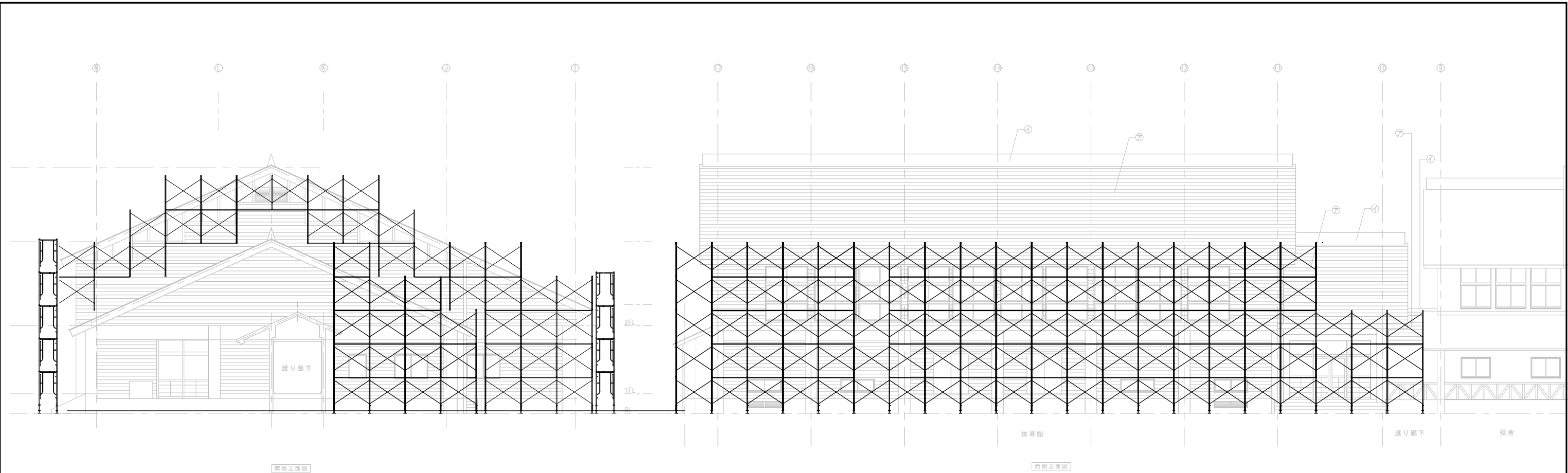


配置図

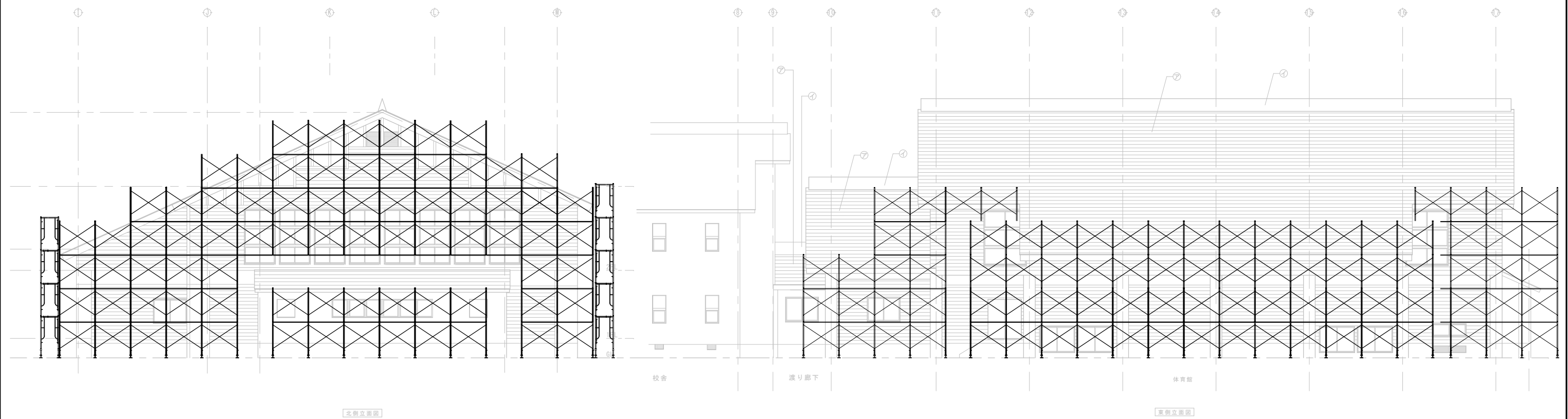


案内図





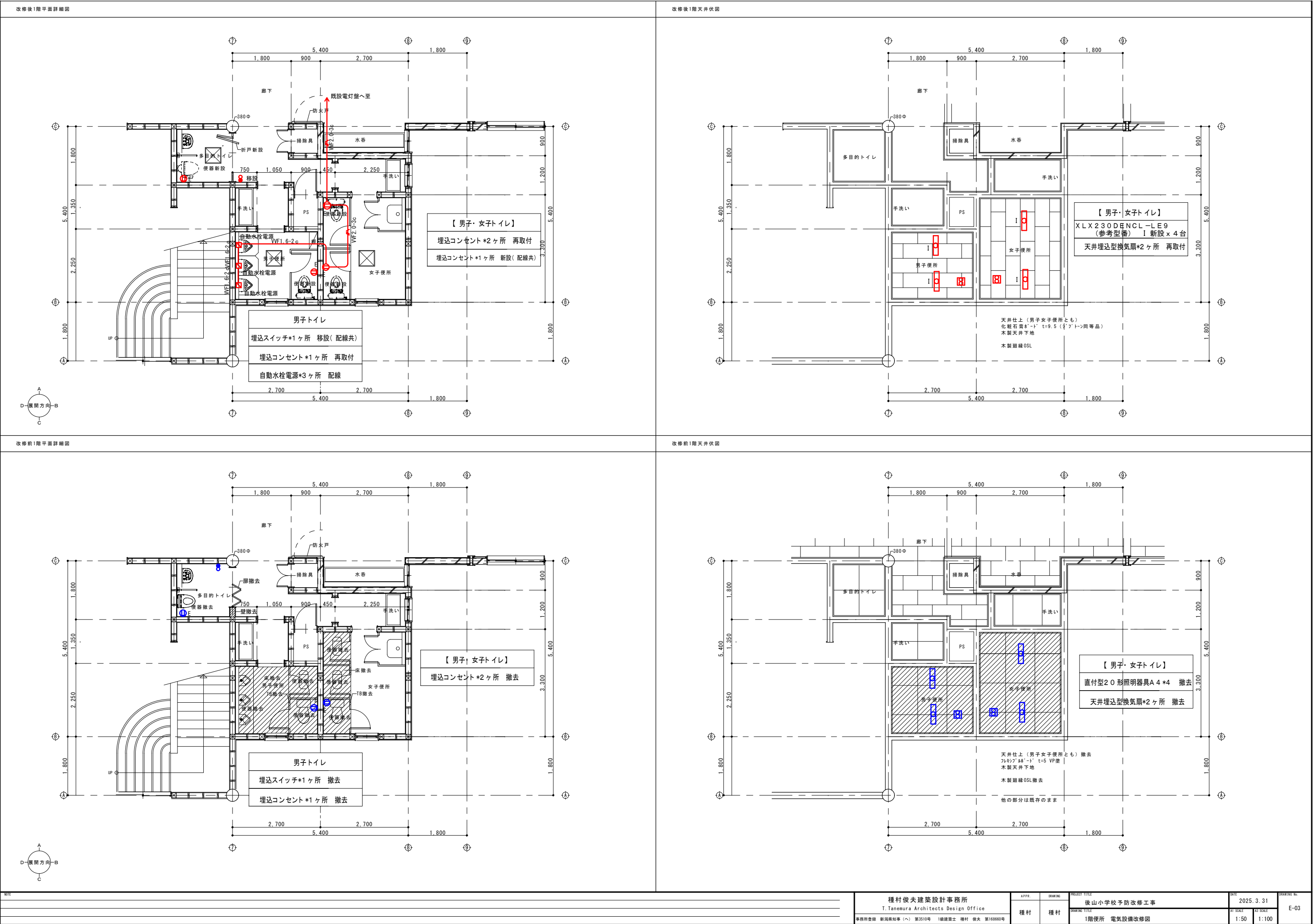
※W:900とする。  
※全面メッシュシート張とする。  
※登り機橋を東西1か所設置する。

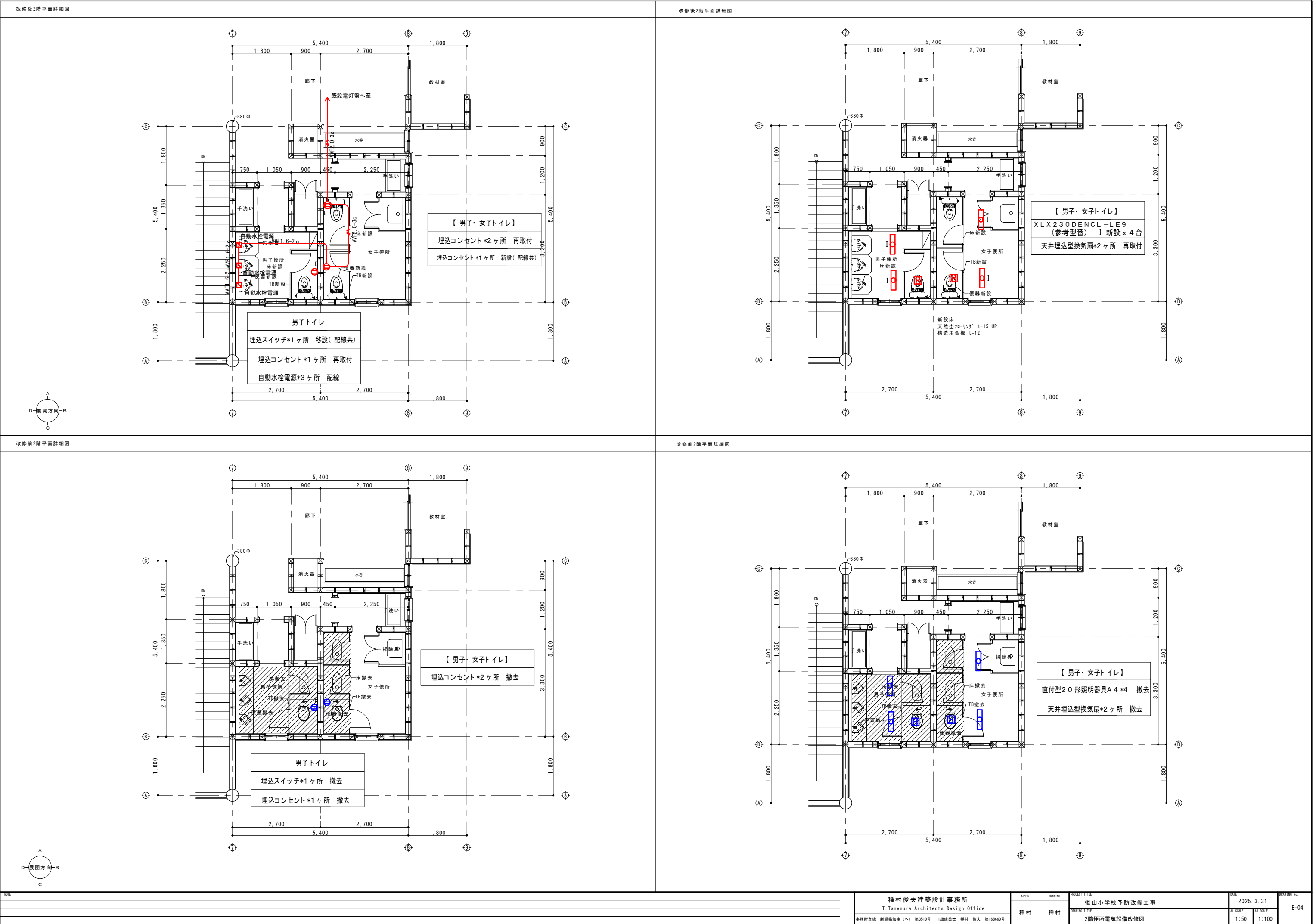


NOTE			種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office		PROJECT TITLE		DATE		DRAWING No.			
			種村	種村	後山小学校予防改修工事		2025. 3. 31		A-34			
					DRAWING TITLE		A1 SCALE				A3 SCALE	
					体育館仮設計画面 ※参考図		1:100				1:200	
事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168660号												

[illegible]







【保健室】
埋込型下面開放型 40w x 2 ミラー灯 20型
C3 x 1・T x 1 撤去
XFX450VEN-LE9 (参考型番) S 新設 x 1台
NNN13510 (参考型番) 新設 x 1台

【廊下】
直付型 40型
O x 3 撤去
XFX410DEN-LE9 (参考型番) U 新設 x 7台

【教務室】
埋込型下面開放型 W=300 埋込型下面開放型 20w x 2
C3 x 9 C2 x 1 撤去
XFX450VEN-LE9 (参考型番) S 新設 x 9台
XLX230VENJ-LE9 (参考型番) T 新設 x 1台

【階段1】
ブラケット 40w x 1 ライティングレール用SP
R x 1 SP x 4 撤去
NNN15510-LE1 (参考型番) H 新設 x 1台
LGS1500N (参考型番) V 新設 x 4台

【更衣室・放送室・資料室】
直付型 40型
A2 x 5 撤去
XFX420DEN-LE9 (参考型番) J 新設 x 5台

【校長室】
埋込型 450□ ミラー灯 20型
H x 4 T x 1 撤去
XL374PEVJ-LA9 (参考型番) Q 新設 x 4台
NNN13510 (参考型番) R 新設 x 1台

【ホール・玄関・ポーチ】
埋込型 36Wx3 ダウンライト 18W・27W
G x 4・J x 1 K x 2 撤去
XL373PEVJ-LA9 (参考型番) A 新設 x 4台
XND1069WN (参考型番) B 新設 x 1台
XNW1063WN (参考型番) C 新設 x 2台

【会議室】
直付型 40型
B3 x 4 撤去
XFX420DEN-LE9 (参考型番) J 新設 x 4台

【外部】
MF 250w
Z x 4 撤去
LDTSG6N-G-E39A (参考型番) 新設 x 1台
LE070035HSZ1/2, 4-A2 (参考型番) 新設 x 1台

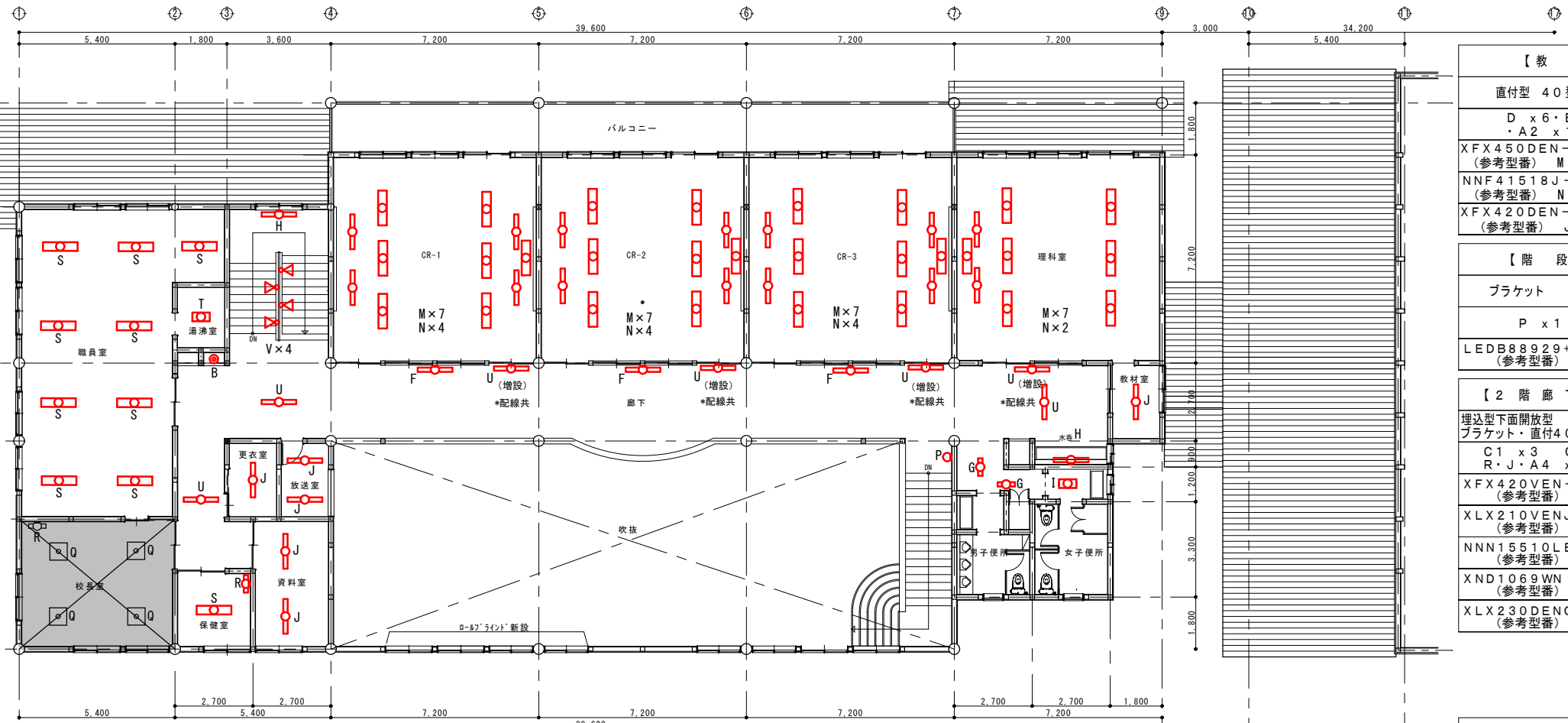
【ピロティ他】
直付防水型 40型 ダウンライト 27W 壁付器具
B1 x 3 J・L x 各1 撤去
XLW422DENZ-LE9 (参考型番) E 新設 x 3台
XND1069WN (参考型番) B 新設 x 1台
NNFW21825LE9 (参考型番) D 新設 x 1台

【1階廊下通路】
埋込型 40・20型 ブラケット 40型
C1 x 8 C4 x 2 R x 2 撤去
XFX420VEN-LE9 (参考型番) F 新設 x 8台
XLX210VENJ-LE9 (参考型番) G 新設 x 2台
NNN15510-LE1 (参考型番) H 新設 x 2台

【乾燥室・教材室】
直付型 40型
A2 x 5 撤去
XFX420DEN-LE9 (参考型番) J 新設 x 5台

【倉庫】
コードペンダント30w-32w
I x 1 撤去
LGC21104 (参考型番) L 新設 x 1台

【検収室・食品庫】
直付型 40型・20型 DL 27W
A1・A2・J x 各1 撤去
XLX210DENC-LE9 (参考型番) K 新設 x 1台
XFX420DEN-LE9 (参考型番) J 新設 x 1台
XND1069WN (参考型番) B 新設 x 1台



【教室】*4ヶ所
直付型 40型・黒板灯
D x 6・E x 4 ・A2 x 1 撤去
XFX450DEN-LE9 (参考型番) M 新設 x 28台
NNF41518J-LT9 (参考型番) N 新設 x 14台
XFX420DEN-LE9 (参考型番) J 新設 x 1台

【階段2】
ブラケット 1L60w
P x 1 撤去
LEDB88929+LEDランプ (参考型番) P 新設 x 1台

【2階廊下通路】
埋込型下面開放型 40w・20w ブラケット・直付40型 DL27w
C1 x 3 C4 x 2 R・J・A4 x 1 撤去
XFX420VEN-LE9 (参考型番) F 新設 x 3台
XLX210VENJ-LE9 (参考型番) G 新設 x 2台
NNN15510LE1 (参考型番) H 新設 x 1台
XND1069WN (参考型番) B 新設 x 1台
XLX230DENC-LE9 (参考型番) I 新設 x 1台

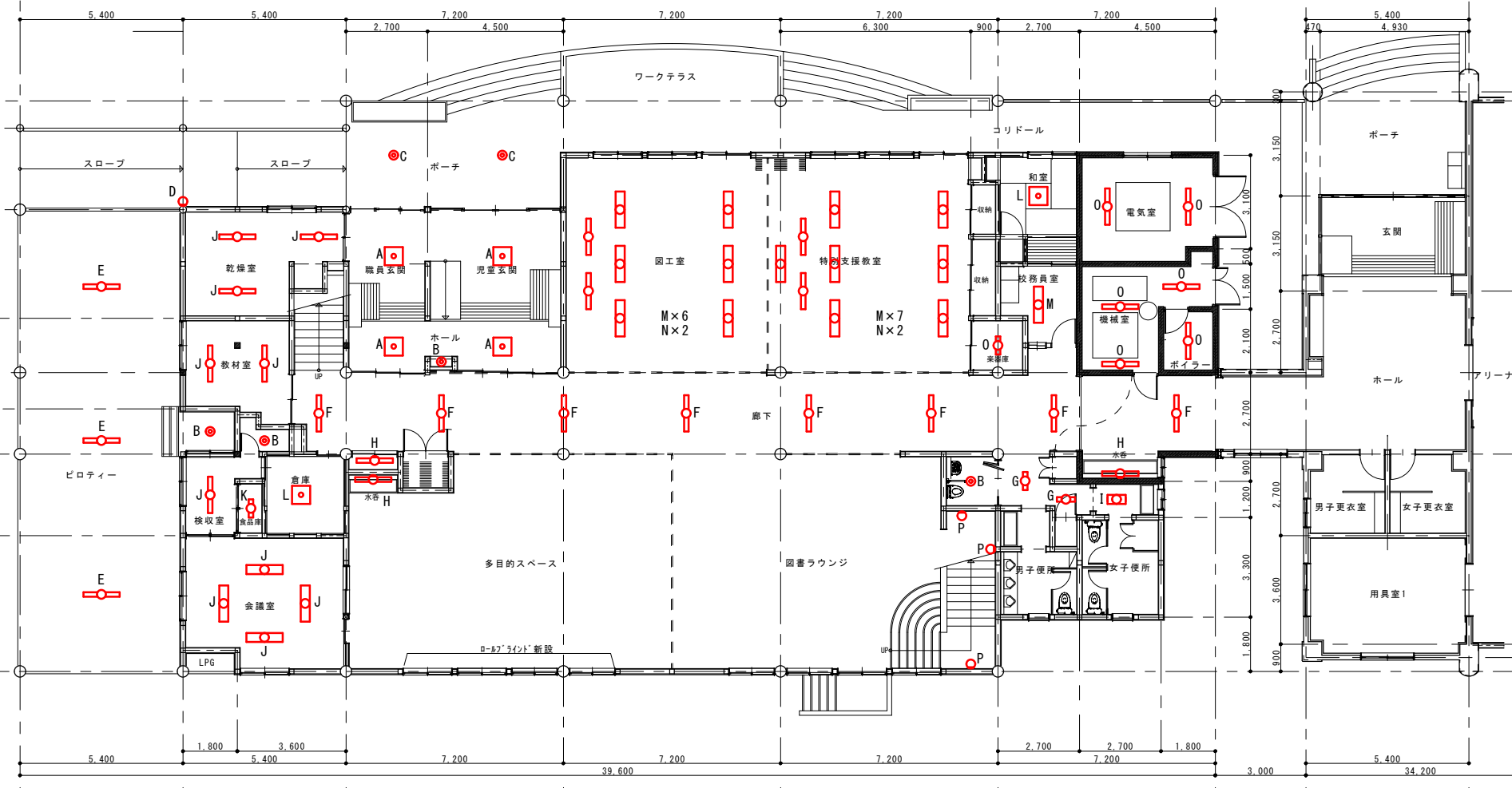
【教室】※2ヶ所
直付型 40型・黒板灯 ・吊下型40型
D x 6・E x 4 L1 x 1 撤去
XFX450DEN-LE9 (参考型番) M 新設 x 13台
NNF41518J-LT9 (参考型番) N 新設 x 4台
XLX420KENP-LE9 (参考型番) O 新設 x 1台

【和室・校務員室】
コードペンダント30w-32w 直付型 40型
I x 1 A3 x 1 撤去
LGC21104 (参考型番) L 新設 x 1台
XFX450DEN-LE9 (参考型番) M 新設 x 1台

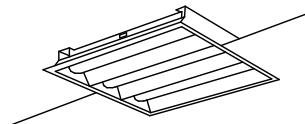
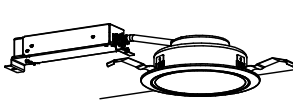
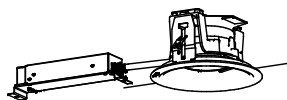
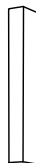

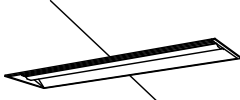
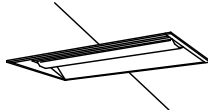
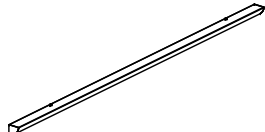







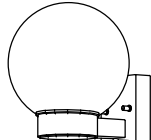
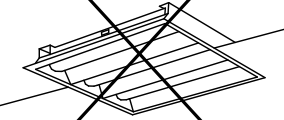
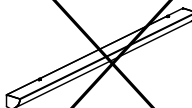
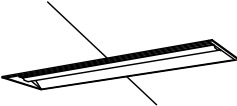
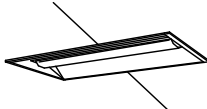

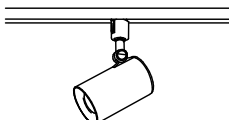
【電気室他】
笠付吊下型 40型
L1 x 6 撤去
XLX420KENP-LE9 (参考型番) O 新設 x 6台

【多目的スペース・図書ラウンジ】
ブラケット FL40型 1L60型
R x 1 P x 3 撤去
NNN15510-LE1 (参考型番) H 新設 x 1台
LEDB88929+LEDランプ (参考型番) P 新設 x 3台

【多目的トイレ・女子トイレ前】
直付型 20型 DL27w
A4・J x 各1 撤去
XLX230DENC-LE9 (参考型番) I 新設 x 1台
XND1069WN (参考型番) B 新設 x 1台





A	LEDスクエアベースライト 埋込下面開放タイプ	B	LEDダウンライト 100形	C	軒下用ダウンライト 100形	D	LDL20W×1 ウォールライト	E	iDシリーズ直付形40形 Dスタイル W230	F	iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300													
<p>パナソニック 埋込XL373PEVJLA9</p>  <p>□450、調光可能タイプ（約10～100%） 電圧100～242V 器具光束650lm、消費電力44W 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）、Ra：83 昼白色（5000K）</p>		<p>パナソニック XND1069WNLE9</p>  <p>LED内蔵くワコンア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1045lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150</p>		<p>パナソニック XNW1063WNLE9</p>  <p>LED内蔵くワコンア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、軒下用（防雨型） 5000K、Ra85、拡散タイプ、一般光色タイプ、光源遮光角15度 器具光束：970lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上） パネル：アクリル（透明）、埋込穴：φ150</p>		<p>パナソニック NNFW21825LE9</p>  <p>防湿・防雨型 ボルトフリー（100～242V） 器具光束780lm、消費電力12W カバー：クリーンアクリル（乳白） 光束維持時間：40000時間 白色（4000K）、Ra84</p>		<p>パナソニック 直付XLW422DENZLE9</p>  <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック 埋込XFX420VENLE9</p>  <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>														
G	iDシリーズ埋込型20形 下面開放型 W300	H	LED高演色ミラーライト W1210	I	iDシリーズ直付型20形 Dスタイル W230	J	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230	K	iDシリーズ直付型20形 Dスタイル W230	L	LEDシーリングライト													
<p>パナソニック 埋込LXL210VENJLE9</p>  <p>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック NNN15510LE1</p>  <p>標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束2730lm、消費電力22.8W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅1210・高さ7・出し110</p>		<p>パナソニック 直付LXL230DENCLE9</p>  <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック 直付XFX420DENLE9</p>  <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック 直付LXL210DENCLE9</p>  <p>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83</p>		<p>パナソニック LGC21104</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3699lm、消費電力27.6W、電圧100V ソフトターン方式、カチットF、半線天井取付アダプタ対応 カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱</p>														
M	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230	N	LDL40×1 直付可動型黒板灯	O	iDシリーズ直付型40形 反射笠付型	P	LEDブラケットランプ +60W	<del>Q</del>	<del>LEDスクエアベースライト 埋込下面開放タイプ</del>	<del>R</del>	<del>LED高演色ミラーライト W620</del>													
<p>パナソニック 直付XFX450DENLE9</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック NNF41518JLT9</p>  <p>適合ランプ：直管LEDランプ 器具光束2410lm、電圧100～242V、消費電力20W ランプ素材：ガラス管、Ra：84 本体：亜鉛銅板（白色） 反射板：アルミ（鏡面つや消し仕上） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 約25～100%連続調光型</p>		<p>パナソニック 直付LXL420KENPLE9</p>  <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>東芝 LEDB88929 +LDA7-G/60W</p>  <p>電球色、2700K、Ra80 光束810lm、消費電力7.3W、電圧100V 光束維持時間40000時間 本体：アルミダイカスト（ブラック） グローブ：ガラス（乳白）</p>		<del><p>パナソニック 埋込XL374PEVJLA9</p><p>□450、調光可能タイプ（約10～100%） 電圧100～242V 器具光束7960lm、消費電力50W 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）、Ra：83</p></del>		<del><p>パナソニック NNN13510LE1</p><p>標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束350lm、消費電力11.7W、電圧100V カバープラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅620・高さ7・出し110</p></del>														
S	iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300	T	iDシリーズ埋込型20形 下面開放型 W300	U	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230	V	LEDスポットライト 60形電球1灯器具相当																	
<p>パナソニック 埋込XFX450VENLE9</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック 埋込LXL230VENJLE9</p>  <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック 直付XFX410DENLE9</p>  <p>一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力13.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>パナソニック LGS1500NLE1</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束445lm、消費電力4.5W、電圧100V 100V配線ダクト用、拡散タイプ、天井付・壁付取付専用 セード：アルミダイカスト（ホワイト） 可動範囲上下90度、回転方向360度</p>																		
<table><tr><td colspan="6">種村俊夫建築設計事務所 T.Tanemura Architects Design Office 事務所登録 新潟県知事（へ） 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第16860号</td><td>APPR 種村</td><td>DRAWING 種村</td><td colspan="2">PROJECT TITLE 後山小学校予防改修工事 DRAWING TITLE 姿図</td><td>DATE 2025.3.31 BY SCALE F</td><td>DATE 2025.3.31 BY SCALE F</td><td>DRAWING NO. E-06</td></tr></table>												種村俊夫建築設計事務所 T.Tanemura Architects Design Office 事務所登録 新潟県知事（へ） 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第16860号						APPR 種村	DRAWING 種村	PROJECT TITLE 後山小学校予防改修工事 DRAWING TITLE 姿図		DATE 2025.3.31 BY SCALE F	DATE 2025.3.31 BY SCALE F	DRAWING NO. E-06
種村俊夫建築設計事務所 T.Tanemura Architects Design Office 事務所登録 新潟県知事（へ） 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第16860号						APPR 種村	DRAWING 種村	PROJECT TITLE 後山小学校予防改修工事 DRAWING TITLE 姿図		DATE 2025.3.31 BY SCALE F	DATE 2025.3.31 BY SCALE F	DRAWING NO. E-06												

[illegible]



規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位													備 考（接合工法等）	
名 称	番 号	備 考	給水 一般	給水 中埋設	給水 湯管	給水 内	給水 外	給水 通気管	給水 排水	給水 火災	給水 力	給水 カ	給水 一	給水 地中埋設	給水 暗渠内		給水 地中埋設
【給水及び給湯管】																	
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○														□ねじ □フランジ □バウジング
〃	〃	SGP-VB															□ねじ □フランジ
〃	〃	SGP-VD	○														□ねじ □フランジ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNWA K 140	SGP-HVA															□ねじ
水道用ポリエチレン粉末管	JNWA K 132	SGP-PB															□ねじ □フランジ
〃	〃	SGP-PD	○														□ねじ □フランジ
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448		○	○													□圧縮・フレックス 拡管式 □バウジング
銅及び銅合金継目無管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○													□熱溶着 □電気融着
外面被覆銅管	JIS H3330		○	○													□熱溶着 □電気融着
保温付被覆銅管	JODA 0008		○	○													JIS H 3300の外面に発泡断熱材（厚さ14mm以上）で被覆したもの
水道用硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	VP又はHIVP	○	○													□接着 (TS) □ゴム輪 (RR)
水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762			○													□軟質管・圧入 □硬質管・圧入
水道配用水ポリエチレン管	JNWA K 144			○													□電気融着 □圧入
ポリブテン管	JIS K 6778		○	○													□電気融着 □圧入
ナイロコチング鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP	○														□フランジ □バウジング
【排水及び通気管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管							○								□ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管							○								□ねじ □バウジング □溶接
排水用硬質塩化ビニル管	WSP 042								○	○							□ねじ □MD
排水用ポリプロピレン管	WSP 032								○	○							□ねじ □MD
排水用塩化ビニル管	JIS K 6741	VP							○	○							□ねじ □MD
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP							○	○							□接着 (DV) □ゴム輪 (RR)
〃	〃	カーVP							○	○							□接着 (DV) □ゴム輪 (RR)
〃	〃	VU							○	○							□接着 (VU) □ゴム輪 (RR)
排水用ポリプロピレン管	AS - 58	REP-VU							○	○							□接着 (VU) □ゴム輪 (RR)
ポリプロピレン管	JIS K 9798	RF-VP							○	○							□接着 (DV) □ゴム輪 (RR)
ポリプロピレン管	JIS K 9797	RS-VU							○	○							□接着 (VU) □ゴム輪 (RR)
耐火二層管									○	○							□接着 (DV) □ゴム輪 (RR)
コックリ管	JIS A 5348	圧管1種B							○	○							国土交通省認定品 □ワット接合 (B形)
【消火管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452								○								□ねじ □バウジング □溶接
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454	STPG 370白管							○								□ねじ □フランジ □バウジング
消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管	WSP 041	SGP-VS								○							□ねじ
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448									○							□圧縮・フレックス 拡管式 □バウジング
ナイロコチング鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP								○							□フランジ □バウジング
【ガス管及び油管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管									○						□ねじ
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS										○					□ねじ □溶接
〃	JIS G 3469	PLP											○				□溶接
ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774													○			□熱溶着 □電気融着 □圧入
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	黒管											○				□ねじ □溶接
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS												○	○		□ねじ □溶接
〃	JIS G 3469	PLP													○	○	□溶接
(注) ●印及び■印を適用する。																	
規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位													備 考（接合工法等）	
名 称	番 号	備 考	冷温水管	冷却水管	蒸気管	給水管	油管	管内暗渠	冷媒管	ドレン排水	補給水管	空気抜管	膨張管				
【冷温水及び冷却水管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管	○	○										□ねじ □バウジング □溶接			
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○											□ねじ □フランジ □バウジング			
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304												□圧縮・フレックス 拡管式 □バウジング			
【蒸気及び油管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	黒管			○	○								□ねじ □溶接			
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454	STPG 370 黒管Sch40			○	○								□ねじ □溶接			
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304				○								□溶接 □フランジ			
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS				○	○							□ねじ			
〃	JIS G 3469	PLP					○							□溶接			
【冷媒管】																	
断熱材被覆銅管	原管はJIS H 3300による								○					液管：□保温厚10mm以上（呼称9.52以下） ガス管：□保温厚10mm以上 □保温厚20mm以上			
【空調機の排水管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管								○				□ねじ □MD			
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP												□接着 (TS) □ゴム輪 (RR)			
〃	〃	カーVP												□接着 (TS) □ゴム輪 (RR)			
【補給水管】																	
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA									○			□ねじ □フランジ □バウジング			
【空気抜き管】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管									○			□ねじ □バウジング □溶接			
【配管強化】																	
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管									○			□ねじ □バウジング □溶接			
(注) ●印及び■印を適用する。																	
各項目で縦に2つ以上●がある場合、管種と使用部位は下記による。																	
(記載例) 給水管一般：SGP-VA（PS内）、ポリブテン管（住戸内）																	
（ ）																	
NOTE																	

表-2>「発生材の処理等」

1. 再生資材の利用  
 下記資材の用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用  
 盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の撤出  
 工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に撤出すること。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

4. 建設廃棄物の撤出  
 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に撤出するものとし積算している。

撤出する廃棄物名称	金属くず、陶磁器類、ガラス類、木くず
処理施設名称	クラッキングセンター(株)
施設所在地	南魚沼市 茗荷沢 地内
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

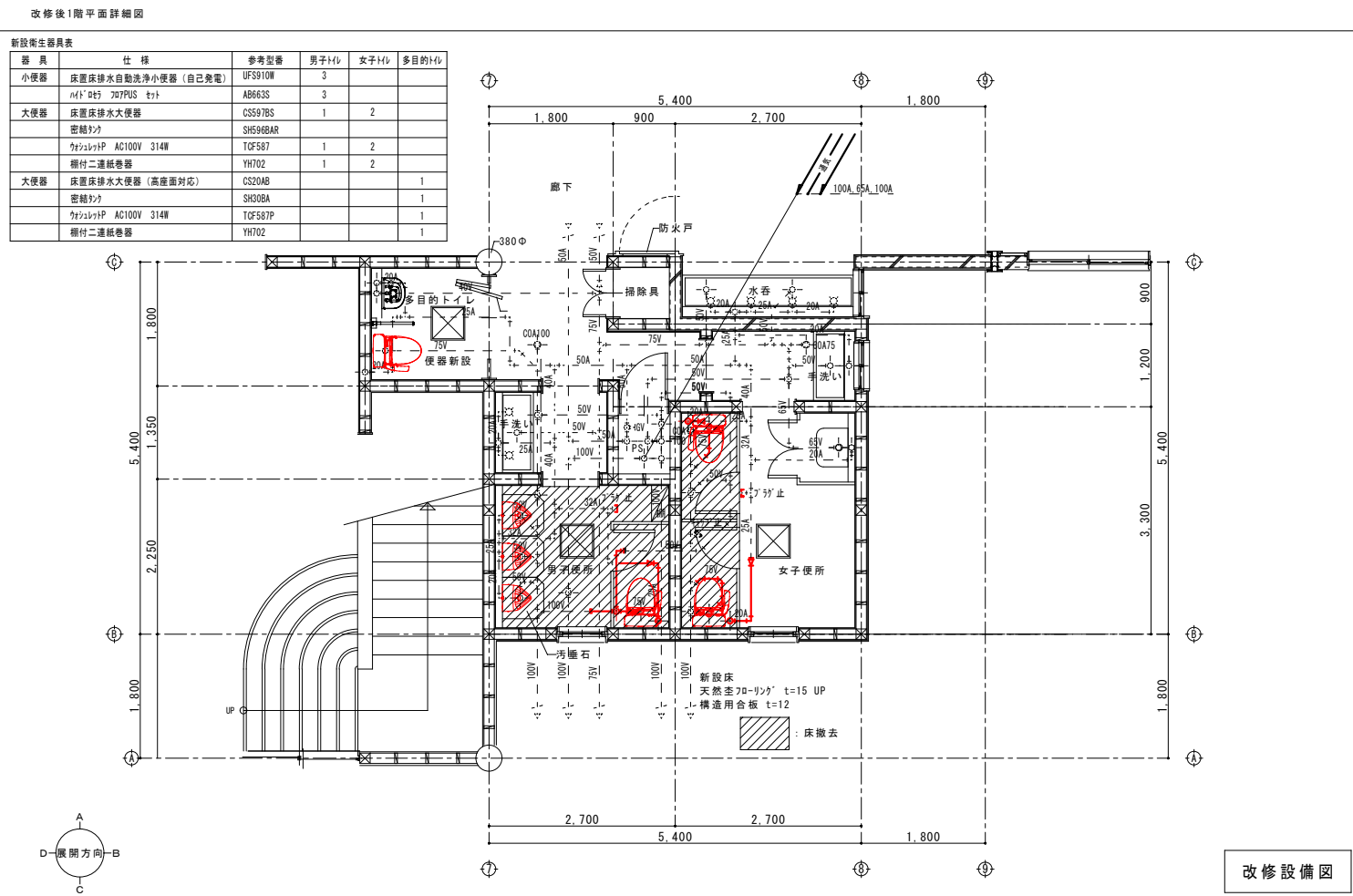
7. 協議について  
 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

表-3>工事区分表  
 注) 原則〇印を適用する。

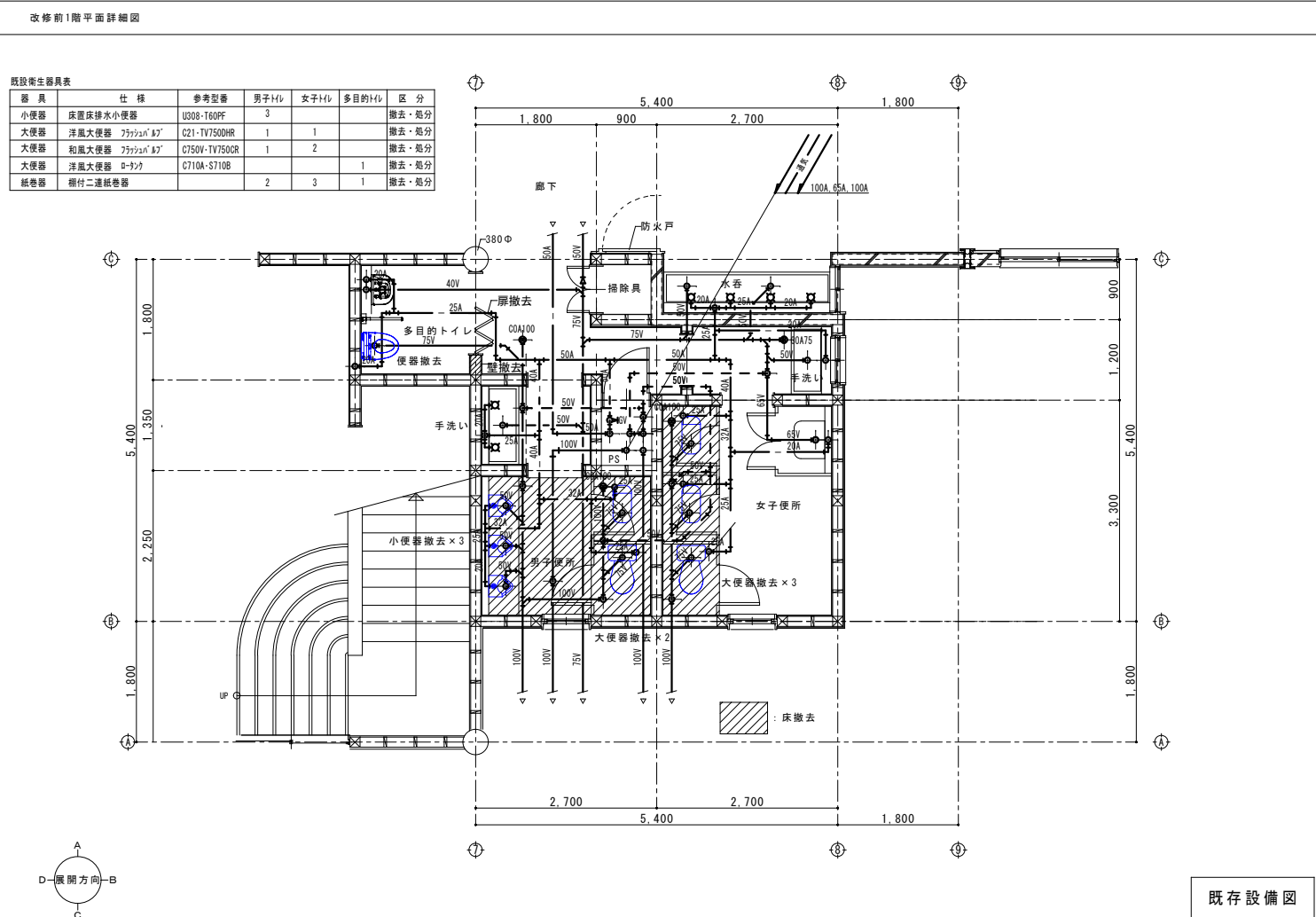
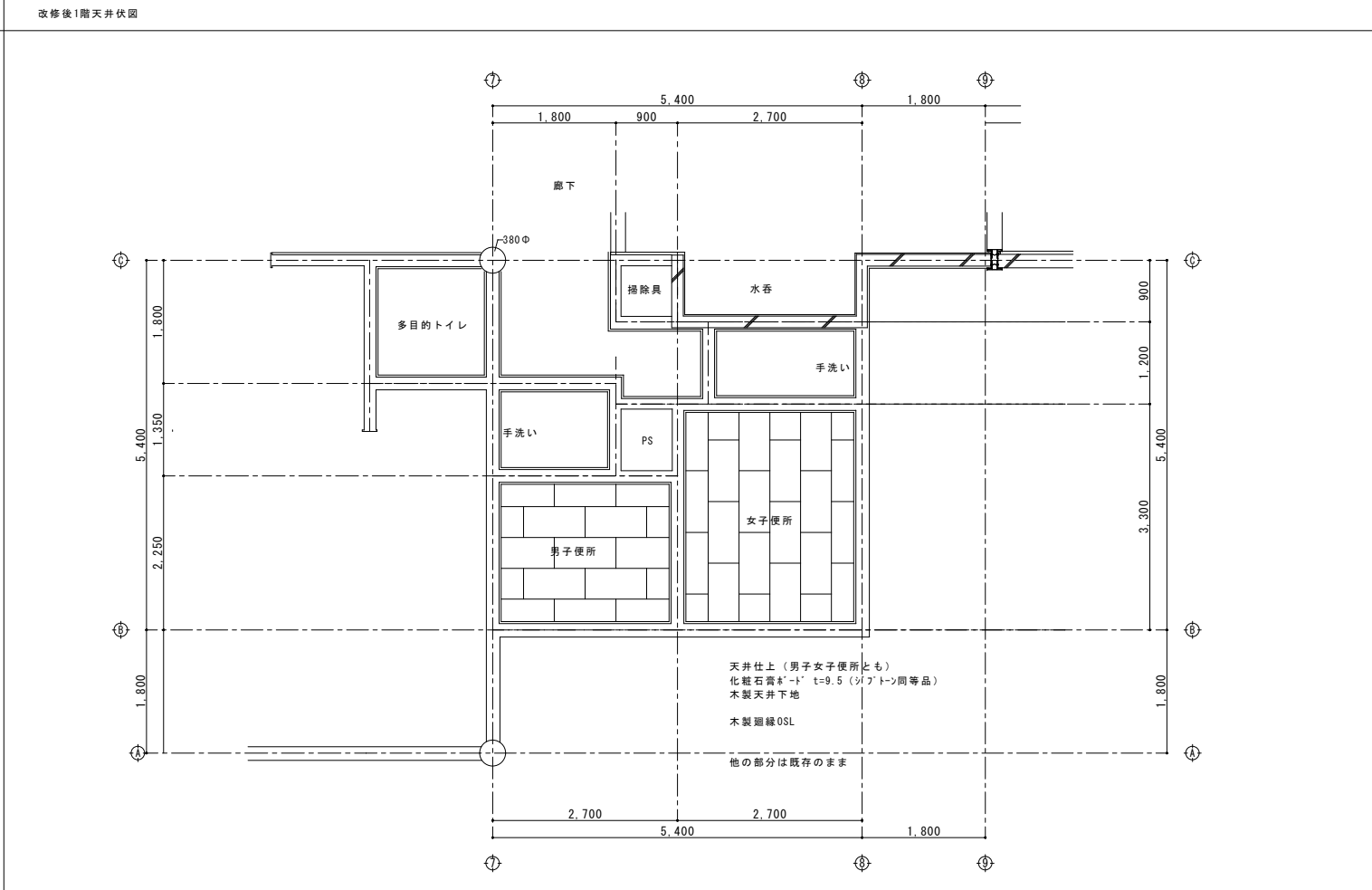
項 目		本工事	建築工事	電気工事
<b>■躯体関係</b>				
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け補強を要する型枠材及び取付け	○		
	貫通孔・開口部の撤出し	○	○	
	貫通孔・開口部の補強	○	○	
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	
	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○	○	
2. S・SRC造・梁貫通口	使用されたスリーブの穴埋め	○		
	予備スリーブの穴埋め	○		
	建築設計図に記入のあるもの	○	○	
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○	○	
	屋外・屋上の基礎	○	○	
3. 設備機器の基礎	屋上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの	○		
	機器取付け用アンカー・集台	○		
	屋内受水タンク用の基礎	○	○	
<b>■仕上げ関係</b>				
軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○		
	補強を要しないボードの切り込み	○		
<b>■電気関係</b>				
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○		
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○
	機殻と付属操作リモコン等の取付け及び渡り配管配線	○		
<b>■その他(工事区分を特に間違えやすい項目)</b>				
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用		○	
床はつり補修	各種配管配線作業用		○	
流し台・ガス台			○	
便所手洗い・カウンター	衛生陶器は衛生設備		○	
洗面化粧台		○		
ガス漏れ警報器		○		
24H換気扇連動スイッチ	機器納入	○		
	取付	○		○
湯沸器連動スイッチ	機器納入	○		
	取付	○		○

改修特記仕様				
一般共通事項	① 施工条件	施工場所の設備機能停止に伴う非施工場所の代替設備。 ○ 設けない ○ 設ける（図示による） ○ 既解体の条件に使い、天井内の機器、配管及びダクト等を実施する。 ○ 天井解体の条件 ※ 建築工事 ・ 本工事（図示による） ○ 工事車両の駐車場及び資機材置場については、次による。 ※敷地内 ・ 敷地外（受主の手配とする）	[1-1.3.3]	
	2. 再使用品	状態、性能及び機能等、取外しを行う確認項目は、監督員と協議する。 取外した機器は、清掃又は洗浄等を行う。 ※別途工事 ・ 本工事（図示による）	[1-1.4.3]	
	4. 本工事で設置する仮設	・ 足場 内部足場の種別 ※ A ～ D 種 ・ E 種 ・ F 種 ・ G 種 外部足場の種別 ※ A、C 種 ・ B 種 ・ D 種 ・ E 種 外部足場は枠組足場とする。 足場を設置する場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発 122 第 2 号令和 5 年 12 月 26 日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の 2 の（1）手すり設置方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行うこと。	[1-2.1.3]	
	⑤ 養生	・ 仮設間仕切り ※ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ※別途工事 ○ 本工事（図示による）	[1-2.2.3]	
	6. 内容物の回収	撤去前に内容物の回収を要する機器及び配管は図示による。 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油	[1-4.1.1]	
	7. 撤去作業の安全対策	アスベスト含有材については次による。 ・ アスベスト含有材使用箇所（ ） ・ 本工事により含有について分析を実施する（箇所： ） ・ 撤去箇所は図示による。	[1-4.1.2]	
	8. 撤去跡の補修	上記の他、撤去部にアスベスト含有の懸念がある場合は監督員と協議する。 壁・付帯機器、床置き機器及び天井付機器撤去跡の取付孔・壁面、天井面の変色等の補修及び床補修等は、次による。 ※建築工事 ・ 本工事（図示による） 床、壁及び天井等の撤去後の開口部について、補修の方法及び仕上げの仕様は、次による。 ※建築工事 ・ 本工事（図示による）	[1-4.2.1] [1-4.2.4]	
	共通工事	1. 既設配管の撤去	既設配管の撤去範囲は図示による。ただし、その位置で不具合と判断される場合は監督員と協議する。	[2-8.2.2]
		2. 既設配管の撤出	下記の撤去材の集積場所は、監督員と協議する。 （ ）	[2-8.3.3]
		3. 既設配管の再生	調査箇所及びサンプリング個数は、図示による。	[2-2.1.1]
4. 地中配管		・ 埋設する部分の舗装等のはつり及び復旧工事の施工範囲及び舗装仕様は、図示による。 ・ 地盤対策は、図示による。 ・ 補装、芝生、舗装、石貼、タイル等の移植及び撤去、復旧並びに再利用品等は、図示による。	[2-5.1.1]	
5. 試験		システム全体の試験 ※行わない ・ 行う（ ） 既設配管を含む部分の試験方法は監督員と協議する。 以下は作業を行う場合は、埋設物の調査を行い、埋設配管等に損傷を与えないように行う。 ・ 埋設配管等の確認方法及び経路を指定する場合は、図示による。 ・ 既存のコンクリート床及び壁等の配管貫通場所及び貫通口径は、図示による。 ・ 解体基礎の仕様（有筋・無筋、防水・非防水、寸法等）は、図示による。 ・ 防水層等の補修は、図示による。 ・ 基礎確認、撤去後の床面仕上げ及び補修は、図示による。	[2-2.1.1] [2-4.1.1] [2-4.1.3] [2-4.1.5]	
6. はつり及び穴開け		既存のインサート及びアンカーは原則として使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃して使用する。	[2-5.1.1]	
7. 既設基礎の解体はつり		引張強度の確認試験 ※行わない ・ 行う（ ） 下記の機器に使用するアンカーは耐震計算を行い選定する。 （ ）		
8. インサート及びフック		あと施工アンカーの試験は次による。 性能確認試験 ※行わない ・ 行う（ ） 施工後確認試験 ※行わない ・ 行う（ ）		
追加特記事項		1. 給水設備	下記の露出配管の保温は、ワンタッチ保温材（硬質ウレタンフォーム 20mm）を使用する。 ・ シャワー室	
		2. 給油設備	配管材質は、<表 1>「使用配管材料一覧表」のとおり。 弁は、マレパス玉形弁とする。 試験は、空気圧縮試験とし、最大常用圧力の 1.5 倍の圧力とする。試験結果のチャートを提出する。	
	3. 空調設備	冷媒管は、断熱材被覆鋼管（原管 JIS H 3300）とし、保温厚は以下による。 液管 ※ 10mm 以上（呼び径 9.52 以下は 8mm としてよい。） ガス管 ※ 10mm 以上 ※ 20mm 以上		
<用語の説明> （1）「撤去」とは、既存物を壊し取ること。				

NOTE	種村俊夫建築設計事務所 T. Tanemura Architects Design Office 事務所登録 新潟県知事 (へ) 第3510号 1級建築士 種村 俊夫 第168060号	APPR.	DRAWING	PROJECT TITLE		DATE	DRAWING No.	
		種村	種村	後山小学校予防改修工事		2025.3.31		M-02
				DRAWING TITLE		A1 SCALE	A3 SCALE	
				機械設備改修工事特記仕様書 (1)		F		



改修設備図



既存設備図

